

内灘町新図書館基本構想

内 灘 町

(目次)

1 章	
構想主旨と社会的動向	--2 P
2 章	
現状の課題と新図書館へのニーズ	--5 P
3 章	
基本理念と基本方針	--17 P
4 章	
目標指標	--22 P
5 章	
整備パターンの比較検討	--31 P
6 章	
具体的な取り組み内容の検討	--38 P
7 章	
基本構想策定経緯と今後の進め方	--49 P

1章 構想主旨と社会的動向

新図書館の基本構想にあたり、構想主旨及び公共の図書館をとりまく社会的動向について整理します。

内灘町の図書館施策や周辺地区での図書館整備状況を踏まえ、構想策定の前提条件となる状況を把握します。

1-1 はじめに

内灘町立図書館は、昭和49年8月に内灘町福祉センター3階で開設し、その後、昭和51年4月に内灘中央公民館（当時）3階に移転、昭和54年11月に内灘町文化会館新設と同時にその2階に移転し現在に至っています。

この間、当図書館は河北郡内の中核図書館として、早くから子どもの読書普及に努め、学校訪問や保育所（園）等への出張図書館事業、図書館訪問事業を通して、学校等との連携を深めるとともに、子どもの読書ボランティア養成講座、子ども向け講座やおはなし会等の各種事業を積極的に行ってきました。

また、町民の日常の生活に密着した図書館として、必要とする資料の的確・迅速な提供と、次代を担う子どもたちの読書への関心を高めるよう、館の運営に心掛けてきました。

しかしながら、近年、町民と町政を取り巻く社会情勢や環境の変化は著しく、新たな学習ニーズが増えていくことが予想されます。現在の町立図書館は、開館から40年以上経過し老朽化が進み、多様化する町民ニーズへの対応や閲覧・蔵書等スペースの不足に加え、文化会館との併設により駐車場台数不足等が課題となっています。

さらに、内灘周辺の自治体では近年、明るく解放的で魅力のある図書館が続々と開館し、それに伴い町立図書館の図書貸出冊数や来館者数も年々減少し、インターネットの普及や昨今の本離れも重なり図書館の魅力も低下している現状であります。

そこで、本町では新しい時代にふさわしい図書館機能・サービス等を兼ね備えた「新図書館基本構想」を策定することとしました。

策定にあたり、関係職員を中心とした検討委員会を設け、構想案を作成し、図書館協議会に諮り協議し、町議会・町民の方々からのご意見もいただきながら、策定作業を進めてまいりました。

この基本構想は、「文化のまち内灘でゆったりと本と向き合う憩いの図書館」を基本理念とし、「地域の魅力を住民が誇りに感じられる図書館づくり」をはじめとする5つの基本方針を定め、町民が誇りを持ち、社会のニーズに対応する持続可能な図書館づくりを進めて行くものであります。

また、この基本構想に基づき、町の文化の拠点として、更なる文化のまちうちなだのシンボルとなるよう推進してまいります。

1-2 内灘町の図書館施策

基本構想の策定にあたり、内灘町の図書館施策について整理します。

内灘町においては総合計画、生涯学習基本構想、教育振興基本計画、子ども読書活動推進計画等で図書館の活動が位置づけされており、町の学習を支える拠点施設としての役割を担っています。

基本構想ではこれらの施策を踏まえ、さらに現状課題やニーズに応える新図書館づくりを目指します。

1-2 内灘町の図書館施策

	読書普及活動の推進	サービスの充実	資料の整備と保管施設の拡充	
1	<p>第五次内灘町総合計画 計画期間：平成28年度～平成37年度 策定：平成28年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児・児童・青少年の読書環境の充実 ・読書会、ボランティア、各学校図書館との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ★図書管理システム等の情報環境の整備 ・他館とのネットワークの強化 ・図書館職員に対する専門研修の実施 ・視聴覚資料並びに機器の充実 ・開館時間の延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズに即した資料の収集 ★郷土関連資料の積極的収集 ・書庫スペースの拡充 ※★は重点施策・事業 	
2	<p>「学びの風」ビジョン21 内灘町生涯学習推進基本構想 策定：平成10年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 「町民が主役の生涯学習キャンパスの町をつくる」 ・町民の誰にでも開かれた利用しやすい学びの支援施設 ・役割の明確化、機能の充実 ・ネットワーク化の促進 	<p>学習施設の整備</p> <p>町民の学びを豊かに支えるために、学習施設や学習関連施設を物的にも人的にも充実し、またその役割分担を明確にする必要がある。</p>	<p>社会教育の充実</p> <p>個人学習に十分対応するために、レファレンス機能のより一層の充実などがもとめられる。</p>	
3	<p>内灘町教育振興基本計画 計画期間：平成27年度～平成36年度 策定：平成27年4月</p> <p>施策の基本的方向と具体的な取り組み</p> <p>基本的方向3-1 確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書活動の推進と学校図書館の充実 ・学校図書館の「読書センター」「学習・情報センター」としての機能の強化 ・学校と町立図書館との密な情報交換により充実した読書環境づくり ・町内全小学校3年生を町立図書館に招待する「学級招待」 ・朝学習の時間等を活用して読み聞かせボランティア団体が各学校へ出向き、絵本等の読み聞かせ <p>基本的方向4-1 家庭や地域、関係機関と連携した学校教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭・地域の教育力の活用と連携 学校教育と社会教育の有機的な連携 	<p>基本的方向5-1 一人一人の生涯にわたる学習への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書環境の充実と読書活動の推進 ・図書館資料の充実や施設整備 ・情報発信の場として多様な資料やホームページ、広報紙面を通じて情報提供 ・開館時間の延長 ・図書館ボランティアや読書会との連携 ・町立図書館と学校図書館との定例連絡会、積極的な情報交換 ・年間貸出利用者数目標 40,000人 (平成28年度 29,294人 平成29年度 29,167人 平成30年度 28,565人) <p>基本的方向6-1 豊かな心をはぐくむ取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心の教育の充実 ③ 「朝読書」「いしかわ学校読書の日」や図書ボランティアの読み聞かせ、家庭読書の取組などを通して、心の糧となる読書活動を推進します。 ●活動拠点となる社会教育施設の整備 ・図書館、文化会館、生きがいセンター、歴史民俗資料館等、社会教育施設の計画的整備に取り組みます。 <p>基本的方向8-2 生涯学習の拠点となる施設の適正下管理と活用</p> <p>(1) 活動拠点となる社会教育施設の整備</p> <p>① 地域住民が公民館を安全安心に活用できるよう、施設の耐震化と改修に取り組みます。</p> <p>② 図書館、文化会館、生きがいセンター、歴史民俗資料館等、社会教育施設の計画的整備に取り組みます。</p>		
4	<p>内灘町子ども読書活動推進計画 計画期間：平成28年度からおおむね10年間 策定：平成28年4月</p> <p>(1) 子どもの読書活動の推進 (2) 子どもの読書環境の整備 (3) 子どもの読書活動の普及啓発</p>	<p>①ブックスタートの支援</p> <p>③家読の推進</p>	<p>②図書館講座の実施</p> <p>⑤おはなし会の実施</p> <p>⑥ネットワークの拠点としての機能の充実</p>	<p>④ヤングアダルトコーナーの設置</p>

1-3 周辺地区図書館整備状況

内灘町周辺地区では図書館の再整備が進んでおり、機能、サービス面において内灘町が取り残された状況となっています。

周辺地区との格差を無くし、同水準以上の図書館サービスを提供していく意味においても、新図書館の整備は急を要する課題であると言えます。

周辺地区の図書館整備状況を以下に整理します。

1-3 周辺地区図書館整備状況

施設名	金沢市 金沢海みらい 図書館	津幡町 津幡町立図書 館	かほく市 かほく市立中 央図書館	野々市市 学びの杜のの いちカレード	小矢部市 小矢部市民図 書館	内灘町 内灘町立図書 館
自治体人口（人）	463,437	36,803	34,669	56,028	30,143	26,691
年間貸出冊数（冊）	776,462	214,065	206,222	586,760		116,075
年間利用者数（人）	646,340	159,231	133,329	502,450		63,694
登録者数（人）	47,364	22,055	18,114	52,998		13,494
蔵書数（冊）	298,714	134,840	160,170	174,410	約18万冊 （開架10万冊 閉架8万冊）	129,837
開設年	平成23年5月	平成17年3月	平成24年3月	平成29年11月	令和2年3月	昭和54年11月
延床面積	5,438.97m ²	1,596m ²	3,531m ²	5,695.7m ²	1,695.75m ²	979.15m ²
階	鉄骨造、 一部鉄筋コン クリート造 地下1階地上3 階建て	鉄骨造 地上2階建て	鉄筋コンク リート造（既 設）+ 鉄骨造 （増築） 地上3階建て	鉄筋コンク リート造、 一部鉄骨造 地上2階建て	鉄骨造 地上2階建て	RC造 地上2階建て
駐車場台数	100台	約160台	85台	129台	市営駐車場を 利用	77台（他施設 と兼用）
住所	石川県金沢市 寺中町イ1番 地1	石川県河北郡 津幡町北中条 3-1	石川県かほく 市遠塚口57番 地6	石川県野々市 市太平寺4- 156	富山県小矢部 市石動町11- 10	石川県河北郡 内灘町字大清 台140番地
電話番号	076-266-2011	076-288-2126	076-285-1377	076-248-8099	0766-67-2056	076-286-1930

小矢部市の人口は総務省統計 HP（H31.1.1 現在）

資料元 石川の公共図書館（人口は石川県公表「石川県の人口と世帯」H31.4.1 現在）

2章 現状の課題と新図書館へのニーズ

2-1 現図書館概要

現図書館は1979年（昭和54年）に開設され、内灘町文化会館に併設されています。近年では子育て支援活動のニーズの高まりに合わせ、絵本を中心とした児童図書利用やよみきかせへの需要が高まる一方で、施設の老朽化と蔵書の増加によるスペース不足により、利用者ニーズに対して、十分なサービスが行えないことが課題として挙げられています。

以下に既存図書館の概要を整理します。

2-1-1 現図書館概要

項目		概要(R1年度当初)		
特徴		内灘町文化会館に併設 文化会館の2階ワンフロア、キッズーナを併設、木の本棚。		
所在地		内灘町大清台140		
開設年		1979年(昭和54年)		
延床面積		979.15㎡		
構造規模		鉄筋コンクリート2階建て		
駐車台数		77台(文化会館と兼用)		
内灘町人口(R2.3.31)		26,459	人	
貸出点数(H30年度)		119,958	点	
貸出密度(H30年度)		4.5	冊	
貸出登録者率(H30年度)		41.6	%	
蔵書数	開架分	78,617	冊(点)	
	閉架分	51,220	冊(点)	
	計	129,837	冊(点)	
分野別資料数	一般図書	82,716	冊	
	参考図書			
	視覚障害者用資料			
	児童書	37,595	冊	
	ヤングアダルト		冊	
	郷土資料	7,129	冊	
視聴覚資料	2,397	点		
新聞・雑誌	新聞	9	誌	
	雑誌	54	誌	
年間資料購入数 及び購入費	資料購入数(図書)	2,890	冊(点)	
	資料購入費 (R1年度予算)	図書	4,500,000	円
		雑誌新聞		

※R1年度は改修工事により、図書館を休館した期間があるため、年間貸出点数、年間貸出利用者数、実利用者数、貸出密度についてはH30年度の数字を掲載します。

2-1-2 蔵書冊数の推移

内訳	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
一般書	41,946	44,420	47,361	49,942	52,085	51,391	53,411	54,033	56,440	54,829
児童書	19,393	19,500	20,298	21,293	22,181	22,972	24,199	24,809	25,748	25,659
郷土資料	1,828	1,888	2,132	2,354	2,537	2,621	2,758	2,877	3,010	3,158
視聴覚資料	720	731	765	840	956	1,011	1,118	1,268	1,404	1,497
計	63,887	66,539	70,556	74,429	77,759	77,995	81,486	82,987	86,602	85,143

内訳	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
一般書	58,078	61,431	61,776	62,275	63,481	65,227	66,803	68,334	69,404	71,256
児童書	26,416	27,482	28,037	28,762	29,598	29,469	30,178	30,693	31,248	30,978
郷土資料	3,316	3,520	3,921	4,102	4,662	5,016	5,287	5,463	5,700	5,892
視聴覚資料	1,642	1,796	1,896	1,705	1,399	1,570	1,705	1,883	1,975	2,060
計	89,452	94,229	95,630	96,844	99,140	101,282	103,973	106,373	108,327	110,186

内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般書	72,406	73,053	73,330	73,436	74,413	76,162	77,946	79,941	81,695	82,716
児童書	30,473	31,445	31,976	32,860	33,688	34,661	35,530	36,118	36,831	37,595
郷土資料	6,052	6,219	6,075	6,272	6,412	6,577	6,753	6,860	7,008	7,129
視聴覚資料	2,129	2,197	2,232	2,260	2,282	2,289	2,313	2,344	2,365	2,397
計	111,060	112,914	113,613	114,828	116,795	119,689	122,542	125,263	127,899	129,837

内訳	令和元年度
一般書	81,141
児童書	37,863
郷土資料	7,220
視聴覚資料	2,427
計	128,651



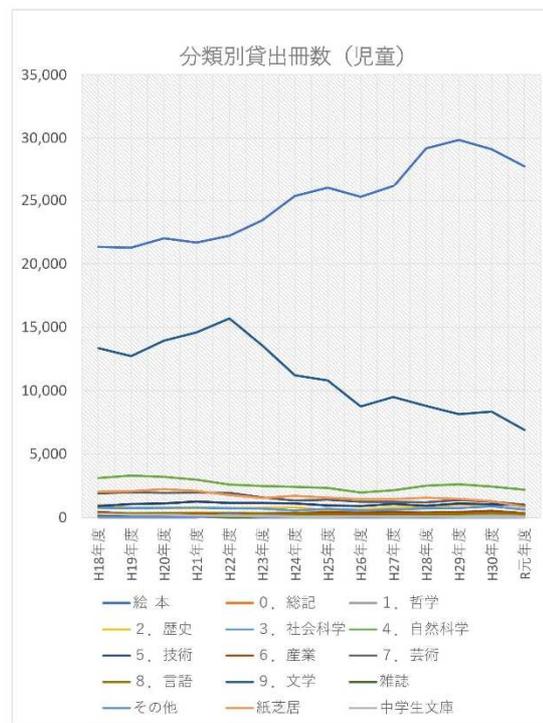
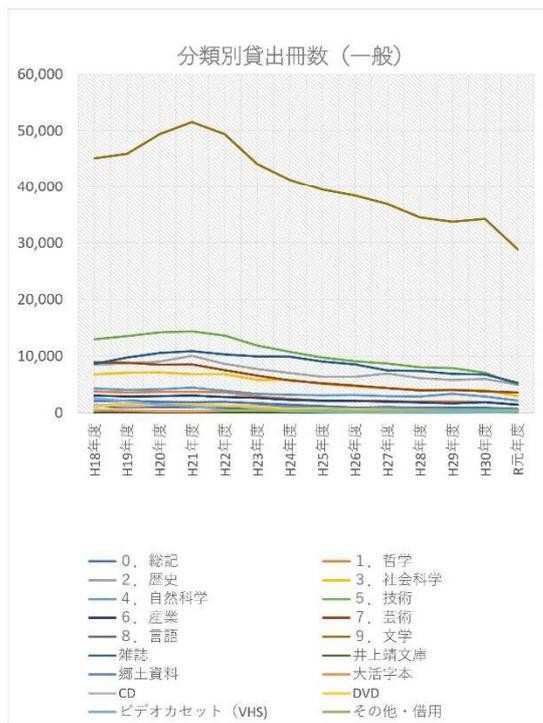
※蔵書冊数の増加はほぼ直線的に推移している。

※50年後の蔵書冊数予測は228,832冊

2-1-3 分類別貸出冊数の推移

分類	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
0. 総記	2,049	2,138	1,912	1,871	1,906	1,656	1,389	1,147	922	985	901	903	926	675
1. 哲学	3,759	3,600	3,664	3,693	3,613	2,857	2,492	2,185	2,148	2,066	2,030	1,969	1,874	1,424
2. 歴史	8,463	8,750	9,063	10,054	8,635	7,719	7,029	6,345	6,372	6,910	6,120	5,803	5,957	4,973
3. 社会科学	6,745	7,068	7,138	6,838	6,826	5,814	5,873	5,027	4,669	4,341	4,047	4,006	3,920	2,970
4. 自然科学	4,267	4,036	4,142	4,437	3,908	3,329	3,184	3,073	3,126	2,916	2,888	3,352	2,861	2,148
5. 技術	12,976	13,540	14,206	14,380	13,650	11,899	10,766	9,761	9,101	8,676	8,044	7,897	7,081	4,938
6. 産業	3,018	2,881	2,924	3,042	2,781	2,647	2,278	2,106	2,077	1,973	1,822	1,644	1,845	1,425
7. 芸術	8,909	8,827	8,501	8,546	7,514	6,559	5,719	5,182	4,810	4,323	3,955	4,053	3,798	3,577
8. 言語	1,146	994	1,052	1,019	804	669	513	439	629	474	456	475	411	366
9. 文学	45,136	45,946	49,434	51,560	49,426	44,151	41,308	39,491	38,395	36,916	34,542	33,789	34,246	28,896
雑誌	8,647	9,726	10,551	10,879	10,313	9,929	9,898	9,027	8,531	7,492	7,367	6,883	6,777	5,277
井上靖文庫	58	102	51	75	23	26	47	11	35	6	15	18	20	37
郷土資料	1,212	1,596	1,520	1,375	1,187	1,252	986	888	827	905	784	627	674	531
大活字本	506	394	230	242	341	578	401	467	372	402	394	259	414	236
CD	1,437	1,179	1,288	1,269	1,186	955	575	535	586	358	275	335	228	160
DVD	989	1,578	1,474	1,518	1,262	1,138	697	712	557	502	412	429	380	273
ビデオカセット	2,530	2,050	1,419	1,159	508	452	263	123	93	56	37	63	20	14
その他・借用					344	366	364	453	296	292	325	476	456	412
一般計	111,847	114,405	118,569	121,957	114,227	101,996	93,782	86,972	83,546	79,593	74,414	72,981	71,888	58,332
絵本	21,344	21,276	22,012	21,677	22,215	23,435	25,365	26,010	25,294	26,150	29,183	29,860	29,122	27,761
0. 総記	336	254	187	241	190	293	267	259	174	189	169	270	199	152
1. 哲学	152	118	144	149	157	167	164	154	181	220	204	241	239	267
2. 歴史	995	747	760	761	715	743	777	566	618	772	831	1,013	900	599
3. 社会科学	769	735	763	776	724	708	548	663	566	609	714	750	874	630
4. 自然科学	3,121	3,300	3,212	2,970	2,593	2,473	2,413	2,312	1,965	2,140	2,504	2,606	2,442	2,190
5. 技術	908	1,049	1,095	1,254	1,155	1,152	1,094	951	897	1,068	912	1,107	1,035	955
6. 産業	419	295	301	351	324	316	366	404	384	401	388	415	519	332
7. 芸術	1,900	1,991	1,945	1,960	1,948	1,585	1,325	1,394	1,243	1,217	1,200	1,377	1,240	1,003
8. 言語	238	320	338	363	351	316	266	240	233	190	262	273	352	272
9. 文学	13,356	12,723	13,938	14,598	15,693	13,564	11,216	10,814	8,762	9,495	8,802	8,137	8,341	6,901
雑誌	853	519	564	1,162	1,349	1,141	1,058	720	935	1,114	1,330	1,252	1,471	1,020
その他	0	0	0	0	253	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙芝居	2,039	2,072	2,235	2,097	1,746	1,533	1,722	1,560	1,446	1,433	1,559	1,466	1,277	828
中学生文庫	283	232	234	145	123	108	72	76	83	62	83	58	59	51
児童計	46,713	45,631	47,728	48,504	49,536	47,534	46,653	46,123	42,781	45,060	48,141	48,825	48,070	42,961
合計	158,560	160,036	166,297	170,461	163,763	149,530	140,435	133,095	126,327	124,653	122,555	121,806	119,958	101,293

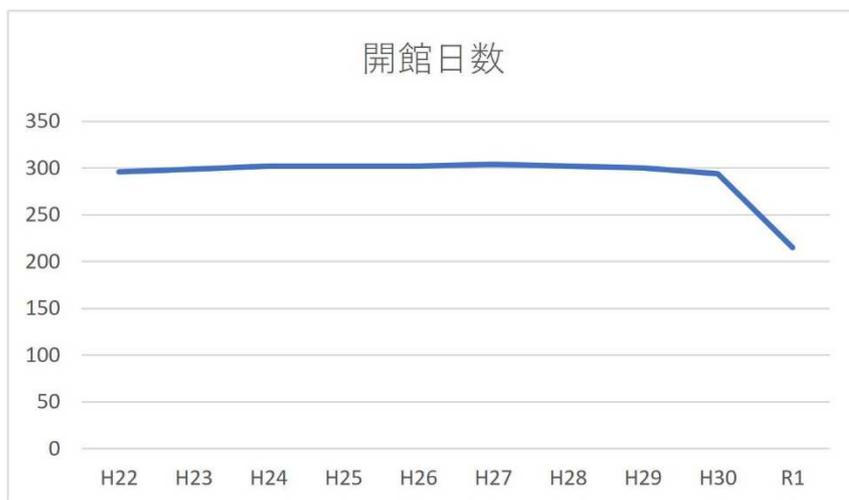
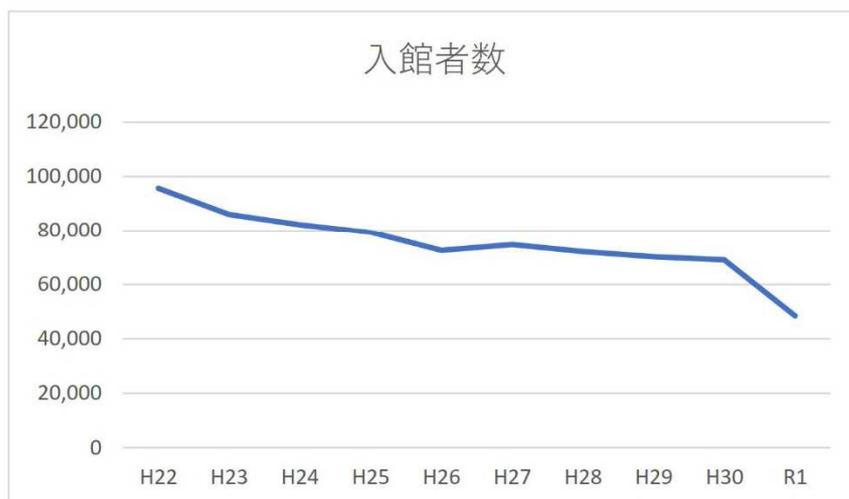
※ 令和元年度 図書館改修工事を実施したことにより減少



2-1-4 入館者数、開館日数の推移

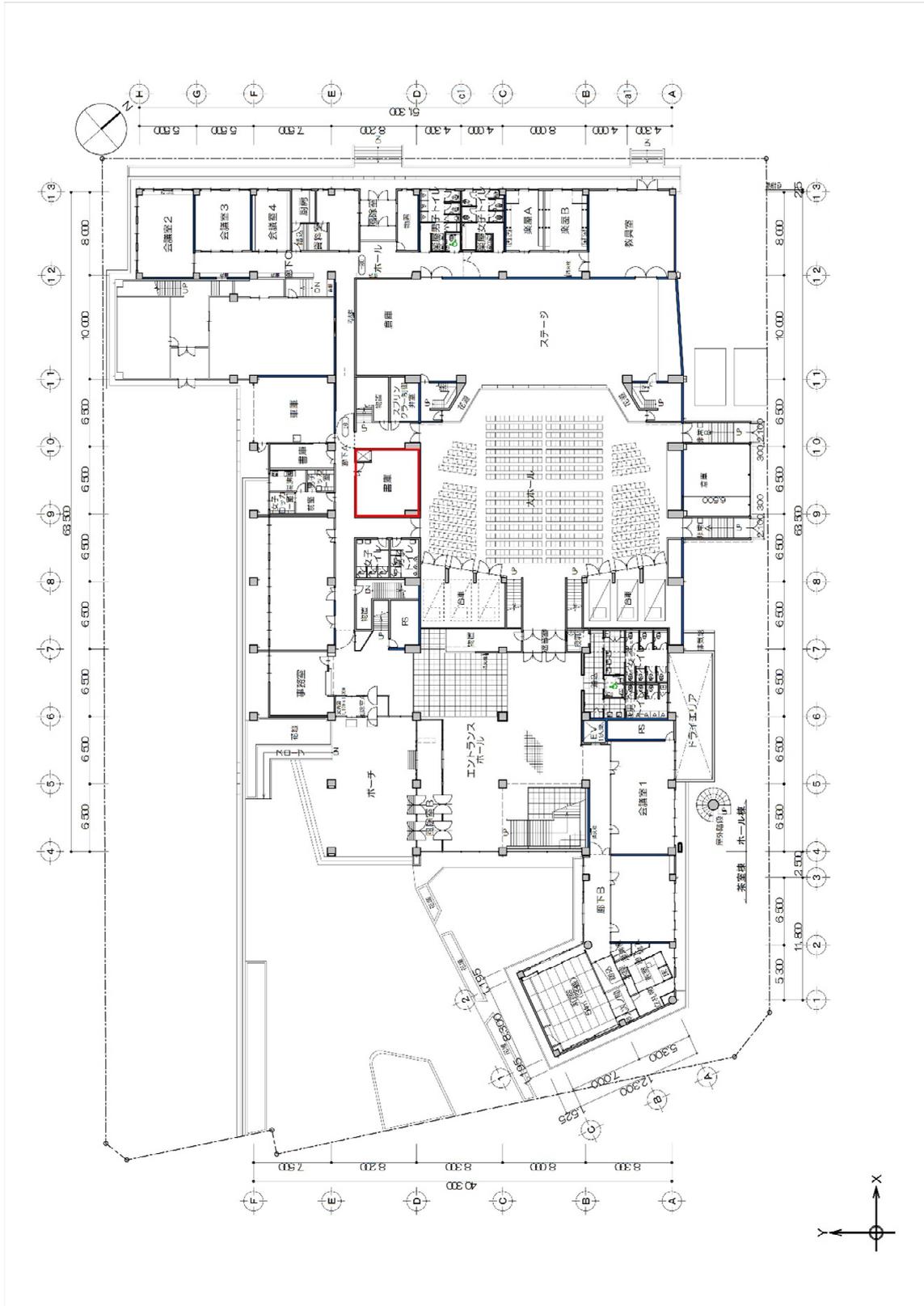
2-1-4開館日数、入館者数

年度	開館日数	入館者数
H22	296	95,662
H23	299	86,094
H24	302	82,230
H25	302	79,355
H26	302	72,569
H27	304	74,659
H28	302	72,081
H29	300	70,253
H30	294	69,046
R1	215	48,477

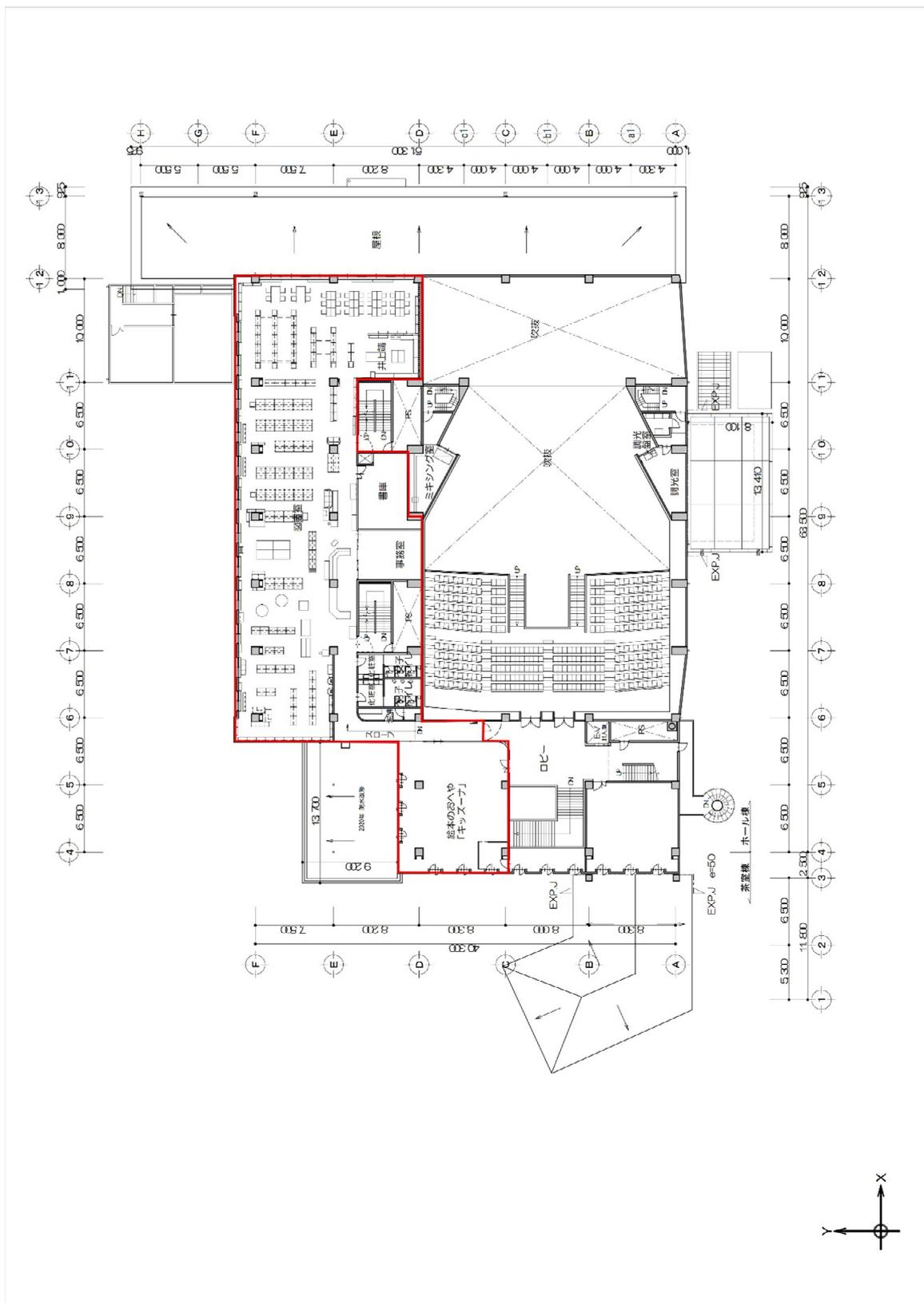


2-1-5 現 内灘町立図書館 平面図

1階現図書館 平面図

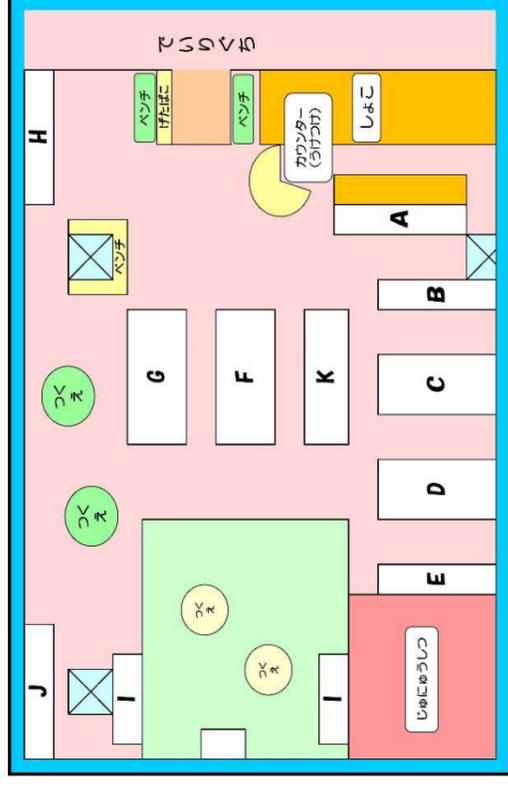


2階現図書館平面図

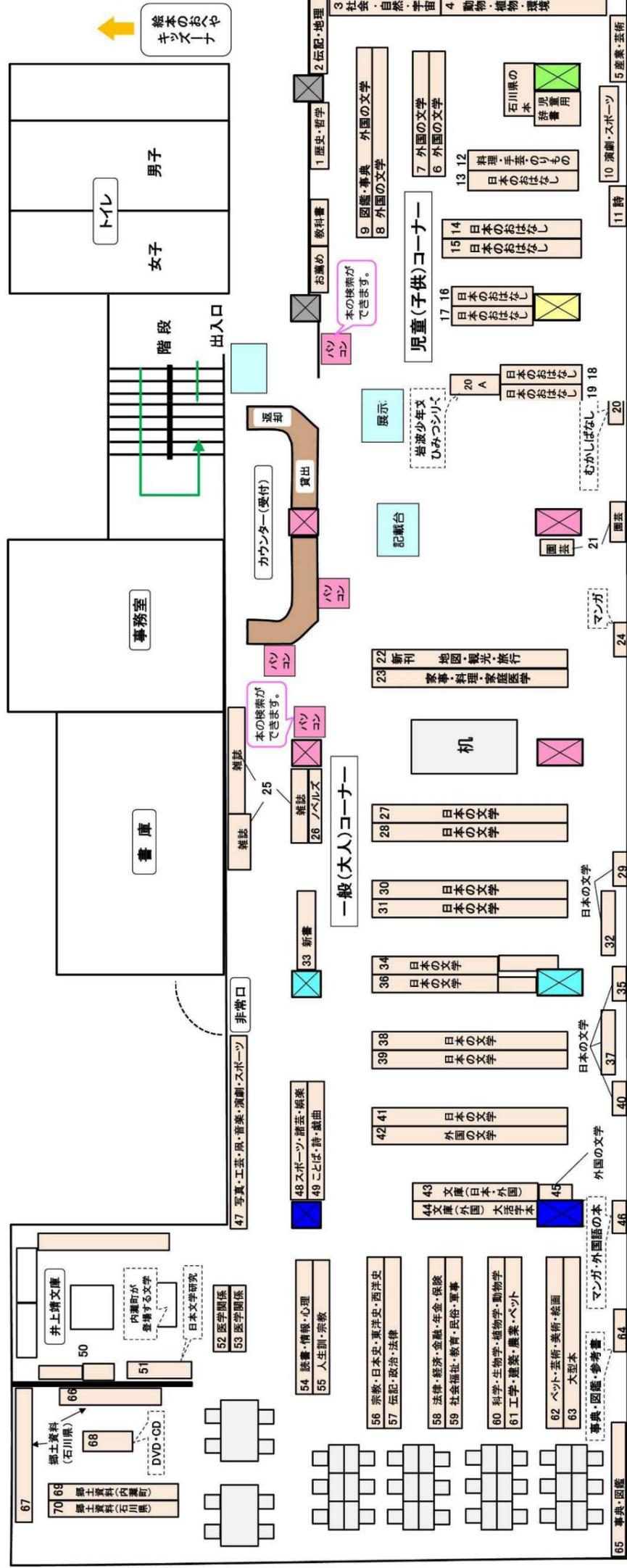


2-1-6 現 内灘町立図書館 書架配架図

内灘町町立図書館
 絵本のおへや キッズーナ 書架配架図
 A-H 絵本 (あいうえお順)
 I 乳児用絵本、一部大型本
 J 英語の絵本
 ※H 一部雑誌



内灘町町立図書館
 児童コーナー、一般コーナー 書架配架図



2-2 現図書館の課題

現図書館は施設・設備の老朽化に伴い、スペース不足、サービスの充実、管理運営の人員不足等の多くの課題を抱えています。年度ごとの施設の更新でこれらの課題を解決していくことには限度があり、抜本的な解決には新図書館の整備が必要となります。新図書館を検討する上で、これらの課題整理と解決方法の検討を行い、新図書館の計画に反映していくことで、利用者側及び運営管理側のニーズに応える新図書館を目指します。

課題の抽出にあたっては、現図書館職員及び文化スポーツ課職員にヒアリングを行いました。

2-2 現図書館の課題

項目分類		課題
1	スペースの課題	1-1 施設スペースが不足している。作業スペース、収納スペース(書庫等)、自習コーナー等。
		1-2 カウンタースペースが不足している。返却スペースがうまく区分できていない。
		1-3 視聴覚資料を視聴するスペースが無い。
		1-4 イベントを開催できる場所が無い。文化会館会議室等では離れている。
		1-5 駐車場が不足している。
		1-6 開架スペースが狭い。読むスペースが不足している。
2	設備の課題	2-1 施設が老朽化している。トイレが古い。開かない窓がある。
		2-2 文化会館の空調と系統が同一であり、空調の効きが悪い。
		2-3 家具が統一されていない。
		2-4 BDS(盗難防止設備)がない。
		2-5 網戸が無いため窓を開けて換気ができない。
		2-6 本を消毒する機械がないため、返却本が3日間利用できなくなる。

項目分類			課題
3	サービスの課題	3-1	社会福祉協議会との連携効果が薄い。歴史民俗資料館とは距離があるため連携が十分ではない。
		3-2	利用者数が減少傾向にある。
		3-3	開館時間の延長(サマータイムサービス)について検討が必要。(18時-19時の利用者が少ない。9月は特に少ない)
4	管理運営の課題	4-1	人員配置に余裕がなく専門研修を受けるための時間が確保できない。
		4-2	キッズーナの場所が離れているため、別途職員を配置する必要がある。
5	その他	5-1	指定管理者制度の導入の検討。

2-3 新図書館へのニーズ

新図書館整備にあたって、現在のニーズの把握、将来的なニーズの予測を行い、新図書館の計画に反映していきます。

図書館機能は時代の流れと共に、本を保管する場所から貸出をする場所へ、さらに近年では家や学校・職場ではない第三の居場所(サードプレイス)として居心地の良い読書空間を提供する場所へと変わりつつあります。

また利用者の学びをサポートする拠点として、子育て支援、学習支援、生涯学習支援等のニーズもさらに高まりつつあります。

これらの新しいニーズを、アクセス、眺望、景観等の地理的要因のニーズ、利用者や管理者のニーズ、社会の中で図書館が担うべき役割に対するニーズ等の側面から整理していきます。

ニーズの把握としてはこれまでに図書館に寄せられた意見をはじめ、図書館協議会委員や現図書館職員等にヒアリングを行いました。

2-3 新図書館へのニーズ

項目分類		ニーズ	
1	ユニバーサルデザイン	1-1	段差解消、使いやすいトイレ、サインの見やすさ等、アクセシビリティを向上する。
2	ネットワーク	2-1	カンガルーム、歴史民俗資料館等の連携効果がある施設とのネットワークを構築する。
3	蔵書構成	3-1	視聴覚資料等様々な情報媒体の充実した閲覧スペースを確保する。
		3-2	より多くの図書の収集を図る。 より広い開架スペース、閲覧スペースを設ける。
		3-3	インターネット予約などのシステムを活用し、利用しやすい図書館をつくる。
4	課題解決支援	4-1	子育て支援、学校教育支援、ビジネスに役立つ情報提供等の支援を充実する。
5	生涯学習	5-1	町民の自主的、自発的な学習活動を支援する学習機会を提供する。
6	次世代育成	6-1	おはなし会、うちどく、学級招待等のさらなる充実を図る。
7	情報と人の交流	7-1	イベントスペースを設置する。
		7-2	新たな文化の発信や創造の場をつくる。
8	住民参加	8-1	ボランティア活動のためのスペースを確保する。
9	地域性 内灘ならではの図書館	9-1	海や潟が見える内灘ならではの図書館をつくる。
		9-2	まちづくりの核となる図書館づくりを目指す。
		9-3	家や職場・学校と異なる、ゆったりと快適に読書を楽しめる場を提供する。
		9-4	健康等のテーマ性を持った図書館づくりをする。
		9-5	現図書館の良さを活かし、木のぬくもりがある空間づくりを行う。

2-4 新図書館への課題、ニーズの対応検討について

既存図書館の課題、新図書館へのニーズへの対応方法について検討します。新図書館整備の2つの方法、既存図書館を改修利用する方法（改修の場合）と新図書館を全面的に新築する方法（新築の場合）を比較し、それぞれの課題やニーズへの対応の可能性について検討いたします。

2-4-1 現図書館の課題への対応

項目分類		課題	可否	対応方法 (分館の場合)	可否	対応方法 (新築の場合)
1	スペースの課題	1-1 施設スペースが不足している。作業スペース、収納スペース(書庫等)、自習コーナー等。	△	改善困難 今年度工事に対応可能か？	○	新築により、作業スペース、書庫スペース、自習スペースを確保可能
		1-2 カウンタースペースが不足している。返却スペースがうまく区分できていない。	×	改善困難	○	新築により、カウンタースペースを確保可能
		1-3 視聴覚資料を視聴するスペースが無い。	×	改善困難	○	新築により、視聴覚閲覧スペースを確保可能
		1-4 イベントを開催できる場所が無い。文化会館会議室等では離れている。	△	改善困難 今年度工事に対応可能か？	○	新築により、イベントスペースの確保可能
		1-5 駐車場が不足している。	×	改善困難	○	新築により、専用駐車場を確保可能 85台
		1-6 開架スペースが狭い。読むスペースが不足している。	×	改善困難	○	新築により、開架閲覧スペースを確保可能
2	設備の課題	2-1 施設が老朽化している。トイレが古い。開かない窓がある。	○	トイレ、窓改修 今年度工事単独運転の換気扇を取付予定	○	新築により改善可能
		2-2 文化会館の空調と系統が同一であり、空調の効きが悪い。	△	空調改修	○	新築により改善可能
		2-3 家具が統一されていない。	○	家具更新	○	家具更新
		2-4 BDS(盗難防止設備)がない。	○	防犯設備設置検討中	○	防犯設備設置
		2-5 網戸が無いため窓を開けて換気ができない。	○	今年度工事で4か所の網戸を追加取付	○	網戸設置
		2-6 本を消毒する機械がないため、返却本が3日間利用できなくなる。	○	消毒設備設置	○	消毒設備設置
3	サービスの課題	3-1 社会福祉協議会との連携効果が薄い。歴史民俗資料館とは距離があるため連携が十分ではない。	△	改善困難	○	複合用途を選定
		3-2 利用者数が減少傾向にある。	△	児童の利用は増加	○	施設の増築により利用者増を見込むことができる。
		3-3 開館時間の延長(サマータイムサービス)について検討が必要。(18時-19時の利用者が少ない。9月は特に少ない)	○	職員配置の見直し要	○	職員配置の見直し要
4	管理運営の課題	4-1 人員配置に余裕がなく専門研修を受けるための時間が確保できない。	○	職員配置の見直し要	○	職員配置の見直し要
		4-2 キッズーナの場所が離れているため、別途職員を配置する必要がある。	△	改善困難	○	新築により改善可能
5	その他	5-1 指定管理者制度の導入の検討。	○	運用により対応	○	運用により対応

2-4-2 新図書館へのニーズへの対応

項目分類		ニーズ	可否	対応方法(改修の場合)	可否	対応方法(新築の場合)
	新たな利用者ニーズの調査方法	(1)社会背景の変化の認識と予測 (2)法令・資料等の趣旨の再検討 (3)利用者ニーズの調査 (4)行政職員との交流 自治体組織内の情報要求を見出す				
1	ユニバーサルデザイン	1-1 段差解消、使いやすいトイレ、サインの見やすさ等、アクセシビリティを向上する。	○	改修により対応可能	○	対応可能
2	ネットワーク	2-1 カンガールーム、歴史民俗資料館等の連携効果がある施設とのネットワークを構築する。	×	対応困難	△	敷地により可能
3	蔵書構成	3-1 視聴覚資料等様々な情報媒体の充実した閲覧スペースを確保する。	×	対応困難	○	対応可能
		3-2 より多くの図書の収集を図る。より広い開架スペース、閲覧スペースを設ける。	×	対応困難	○	対応可能
		3-3 インターネット予約などのシステムを活用し、利用しやすい図書館をつくる。	○	設備導入により対応可能	○	設備導入により対応可能
4	課題解決支援	4-1 子育て支援、学校教育支援、ビジネスに役立つ情報提供等の支援を充実する。	○	運用により対応可能	○	運用により対応可能
5	生涯学習	5-1 町民の自主的、自発的な学習活動を支援する学習機会を提供する。	○	運用により対応可能	○	運用により対応可能
6	次世代育成	6-1 おはなし会、うちどく、学級招待等のさらなる充実を図る。	○	できる範囲で対応している	○	対応可能
7	情報と人の交流	7-1 イベントスペースを設置する。	×	対応困難	○	新築により対応可能
		7-2 新たな文化の発信や創造の場をつくる。	×	対応困難	○	新築により対応可能
8	住民参加	8-1 ボランティア活動のためのスペースを確保する。	×	対応困難	○	新築により対応可能
9	地域性内蔵ならではの図書館	9-1 海や湯が見える内蔵ならではの図書館をつくる。	×	対応困難	△	敷地により可能
		9-2 まちづくりの核となる図書館づくりを目指す。	△	対応困難	△	敷地により可能
		9-3 家や職場・学校と異なる、ゆったりと快適に読書を楽しめる場を提供する。	○	小規模館の良さがある	○	新築により対応可能
		9-4 健康等のテーマ性を持った図書館づくりをする。	△	対応困難	△	テーマによる。
		9-5 既存図書館の良さを活かし、木のぬくもりがある空間づくりを行う。	○	現在評価されている	○	新築により対応可能

既存図書館を改修利用する方法ではスペースが限定されることから、多くの課題やニーズへの対応が困難であることがわかります。新図書館の全面的新築、または新図書館を分館として新築し既存図書館と併用等の措置により、十分なスペースを確保することが必要となります。

3章 基本理念と基本方針

3-1 基本理念

「文化のまち内灘でゆったりと本と向き合う憩いの図書館」

新図書館は、内灘町の図書館施策のさらなる強化推進、現図書館の課題解決、内灘の良さを活かす図書館づくり、新しい社会ニーズへの対応、図書館利用を更に高める連携等を総合的に考慮し、以下のキーワードを実現する図書館づくりを基本理念とします。

- ・「文化のまち内灘」→内灘の歴史、文化、風土を反映した内灘ならではの図書館の実現。町民が誇りに思える図書館。内灘らしさの表現。
- ・「ゆったりと本と向き合う」→小規模館の落ち着き、木の本棚等、現図書館の良さを継承する。
- ・「憩い」→居心地の良い読書空間。家や学校・会社とは別の居場所づくり（サードプレイス）等の社会的なニーズを捉えた図書館。新しい出会い（本、人、できごと）やにぎわいの楽しさを感じられ、気軽に立ち寄れる魅力的な図書館。

3-2 基本方針

新図書館の基本理念に基づき、基本理念を具体化または補完する指標として5つの基本方針を設定します。読書活動の普及、読書環境の充実、学習や活動の支援、内灘らしさの実現、持続可能な図書館サービス等の視点から、以下に新図書館整備に必要な基本方針を定めます。

※以下「●」は第五次内灘町総合計画内容

※以下「★」は第五次内灘町総合計画重点施策・事業

基本方針1 地域の魅力を住民が誇りに感じられる図書館づくり

「理想は高く学問を愛し、豊かな文化のまち内灘をつくる図書館」

内灘町は石川県のなかで戦後最も大きく変化した町であり、歴史、文化、風土についての豊かな郷土資料があります。豊かな郷土資料を活用し、より深く内灘を知り、故郷を誇りに思える図書館を目指します。町民憲章にある「理想は高く学問を愛し、豊かな

文化のまち内灘」が感じられる図書館づくりを目指します。

- 1-1.町民憲章を具現化する図書館づくり
- 1-2.豊かな自然と郷土資料を活かした内灘ならではの図書館づくり
- 1-3.内灘の蔵書を活かした図書館づくり

基本方針 2 気軽に立ち寄ることができ、ゆったりと落ち着いた環境の中で読書が楽しめる図書館づくり

新図書館では現図書館の小規模で落ち着いた雰囲気を継承し、ゆったりと落ちついた環境の中で読書が楽しめる図書館とします。

また気軽に立ち寄ることができるように、車でのアクセスのしやすさや十分な駐車場の確保や開館時間の延長について検討します。また立ち寄り利用を促進するような他の施設との複合化についても検討します。

誰もが気軽に立ち寄れ、誰にとっても使いやすく、また誰もが魅力を感じる図書館づくりを目指します。

- 2-1.開館時間の延長
- 2-2.車での利用に配慮した使いやすく十分な駐車場の確保
- 2-3.ユニバーサルデザインに配慮した施設計画
- 2-4.魅力的な建物の創造
- 2-5.滞在型図書館を考慮した施設計画
- 2-6.図書館利用を促進するための施設の複合化の検討

基本方針 3 読書普及活動を推進する図書館づくり

新図書館は新しい出会いがある情報拠点と位置づけします。図書館は本と人、情報と人、人と人の出会いが生まれる場所であると図書館機能を再定義し、それに基づいた読書普及活動を推進していきます。

現図書館では特によみきかせ活動と連携した絵本の貸出利用が伸びています。この傾向を強化するために乳児・児童・青少年の読書環境の充実を図ります。また各関連施設での図書を利用した活動や図書館サポーターの活動と連携しながら、読書普及活動をさらに強化推進します。

読書普及活動を支える基盤整備として、図書館管理システム等の情報環境の整備、視

聴覚資料ならびに閲覧機器の充実、非接触での図書利用に対応した電子書籍の貸出環境の整備等について検討を進めます。

- 3-1.乳児・児童・青少年の読書環境の充実
- 3-2.読書会、図書館サポーター、各学校図書館との連携強化
- 3-3.情報拠点としての図書館、本と人、人と人の出会いと交流の場をつくる
- ★3-4.図書管理システム等の情報環境の整備
- 3-5.コロナ禍時代の新しい生活様式に対応した電子書籍の貸出環境の整備
- 3-6.他館とのネットワークの強化
- 3-7.視聴覚資料並びに機器の充実

基本方針 4 子育て、学校教育、生涯学習、地域を学ぶ活動等の全ての人を支援する図書館づくり

図書館を利用する全ての人をサポートできるように、図書館サービスの充実を図ります。十分な開架スペースと書庫スペースを確保し、利用ニーズに即した資料収集や郷土関連資料の積極的な収集を行います。また利用者に、より質の高い図書館サービスを提供できるような人員配置を行い、図書館職員がより高度な専門研修を受けられるよう検討します。

- 4-1.利用者ニーズに即した資料の収集
- ★4-2.郷土関連資料の積極的収集
- 4-3.書庫スペースの拡充
- 4-4.図書館職員の専門研修への参加拡充

基本方針 5 変動する社会ニーズに対応する持続可能な図書館づくり

図書館はまちの歴史や文化や教育を支える重要な公共インフラであり、広く町民に愛され、長く利用してもらえるような図書館づくりを目指します。そのため変動する社会ニーズに幅広く対応できるフレキシビリティがあり、また維持管理がしやすく、安全安心で持続可能な図書館とします。

また効率的、効果的な運営計画の立案と継続的な人材育成により、図書館活動をみんなで支えていく強固な基盤づくりを行っていきます。

- 5-1. ライフサイクルコストを考慮した長寿命計画の立案
- 5-2. 社会的なニーズの変化への対応可能な仕組みの構築
- 5-3. 感染症等に対応する安全安心の施設づくり（コロナ対策等）
- 5-4. 持続可能なサービスのための図書館づくり
- 5-5. 効率的、効果的な運営計画の立案と継続的な人材育成

3-3.基本理念と基本方針

基本理念	
文化のまち内灘でゆったりと本と向き合う憩いの図書館	
<p>・【文化のまち内灘】 →内灘らしさの表現。内灘の歴史、文化、風土を反映した内灘ならではの図書館の実現。町民が誇りに思える図書館。</p> <p>・【ゆったりと本と向き合う】 →小規模館の落ち着いた、木の本棚等の現図書館の良さを継承する。</p> <p>・【憩い】 →居心地の良い読書空間。家や学校・会社とは別の居場所づくり(サードプレイス)等の社会的なニーズを捉えた図書館。新しい出会い(本、人、できごと)やにぎわいの楽しさが感じられ、気軽に立ち寄れる魅力的な図書館。</p>	
基本方針	基本施策
	<small>※「●」は第五次内灘町総合計画内容 ※「★」は第五次内灘町総合計画重点施策・事業</small>
1 地域の魅力を住民が誇りに感じられる図書館づくり「理想は高く学問を愛し、豊かな文化のまち内灘をつくる図書館」	1-1.町民憲章の具体化する図書館づくり
	1-2.豊かな自然と郷土資料を活かした内灘ならではの図書館づくり
	1-3.内灘の蔵書を活かした図書館づくり
2 気軽に立ち寄ることができ、ゆったりと落ち着いた環境の中で読書が楽しめる図書館づくり	●2-1.開館時間の延長
	2-2.車での利用に配慮した使いやすく十分な駐車場の確保
	2-3.ユニバーサルデザインに配慮した施設計画
	2-4.魅力的な建物の創造
	2-5.滞在型図書館を考慮した施設計画
	2-6.他施設との連携の強化
3 読書普及活動を推進する図書館づくり	●3-1.乳児・児童・青少年の読書環境の充実
	●3-2.読書会、図書館サポーター、各学校図書館との連携強化
	3-3.情報拠点としての図書館、本と人、人と人の出会い交流の場をつくる
	★3-4.図書管理システム等の情報環境の整備
	3-5.コロナ禍時代の新しい生活様式に対応した電子書籍の貸出環境の整備
	●3-6.他館とのネットワークの強化
	●3-7.視聴覚資料並びに機器の充実
4 子育て、学校教育、生涯学習、地域を学ぶ活動等の全ての人を支援する図書館づくり	●4-1.利用者ニーズに即した資料の収集
	★4-2.郷土関連資料の積極的収集
	●4-3.書庫スペースの拡充
	●4-4.図書館職員の専門研修への参加拡充
5 変動する社会ニーズに対応する持続可能な図書館づくり	5-1.ライフサイクルコストを考慮した長寿命計画の立案。
	5-2.社会的なニーズの変化への対応可能な仕組みの構築。
	5-3.感染症等に対応する安全安心の施設づくり(コロナ対策等)
	5-4.持続可能なサービスのための図書館づくり。
	5-5.効率的、効果的な運営計画の立案と継続的な人材育成

4章 目標指標

新図書館の目標指標を以下に定めます。現図書館での実績をもとにし、将来的な需要を見越したサービスの目標値、施設の必要面積・収容能力、駐車場、駐輪場の台数想定、敷地規模、新図書館のゾーニングイメージについて検討します。

4-1 新図書館サービス水準の数値目標

将来的な町の人口を予測し、必要となる蔵書数、蔵書構成、資料購入数、資料購入費等を予測します。

		目標		現在 (R1実績)		備考	
内灘町人口		27,000	人	26,635	人	内灘町人口ビジョン（令和2年3月） 2030年の将来目標人口を基準とする。	
貸出点数		243,000	点	119,958	点	現在の貸出密度〔貸出冊数／人口〕 4.5点/人 将来2.0倍の目標9.0点/人 27,000人×9.0冊/人・年＝243,000	
貸出登録者率		50	%	42	%		
蔵書数	開架分	100,000	冊(点)	78,617	冊(点)	一冊の図書が1年で3回転と仮定。 常備開架が必要な参考図書3000、郷土資料8,000、視聴覚資料2,000を加算 (243,000点÷3回転)×1.08+13,000	
	閉架分	70,000	冊(点)	51,220	冊(点)	全蔵書冊数(計)－開架分冊数 ※将来必要となる収容能力として 94,000冊とする	
	計	170,000	冊(点)	129,837	冊(点)	町民一人当たり冊数4.8冊/人 将来1.5倍の目標6.3冊/人 27,000人×6.3冊/人＝170,100冊	
分野別資料数	一般図書	98,000	冊	82,716	冊	(目標)開架55,000冊	
	参考図書	3,500	冊			(目標)開架3,000冊	
	視覚障害者用資料	5,000	冊			(目標)開架3,000冊	
	児童書	44,000	冊	37,595	冊	(目標)開架26,000冊	
	ヤングアダルト	5,000	冊			(目標)開架3,000冊	
	郷土資料	11,000	冊	7,129	冊	(目標)開架8,000冊	
	視聴覚資料	3,500	点	2,397	点	(目標)開架2,000点	
新聞・雑誌	新聞	13	誌	9	誌	滞在型図書館を目指して増加 ※2誌は寄贈	
	雑誌	120	誌	54	誌	滞在型図書館を目指して増加	
年間資料購入数 及び購入費	資料購入数(図書)		5,000	冊(点)	2,890	冊(点)	開架100,000冊の50%を10年で更新 100,000×50%÷10年＝5,000冊/年
	資料購入費	図書	7,500,000	円	4,596,276	円	5,000冊×1,500円/冊＝7,500,000円/年
		雑誌新聞	1,000,000	円	688,203	円	新聞38,000円/誌・年、雑誌10,000円/誌・年 38,000円/誌・年×9誌+10,000円/誌・年×70＝1,042,000円/年

※人口 26,635 人は、住民基本台帳人口 (H31.3.31 現在)

4-2 新図書館の主要スペースの構成と面積概算

現図書館でのスペース不足の解消や、新図書館で想定する蔵書規模、将来的なニーズをフレキシブルに対応可能なゆとり等を総合的に考慮し、新図書館主要スペースの構成と面積概算を下記のように想定します。

部門構成	主要構成スペース	面積㎡	備考		
利用部門	玄関ホール	玄関ホール エントランス	120	生活情報提示、ブックポスト、読書用スペース	
		休憩スペース	21	自動販売機、飲食席	
		小計	141		
	中央サービス	総合カウンター	32	事務室と隣接	
		レファレンス		総合カウンター内、コピー機	
		検索コーナー		パソコン端末機4台	
		小計	32		
	開架	一般書(成人)	600	55,000冊配架	
		ヤングアダルト(青少年)		3,000冊配架	
		参考図書		3,000冊配架	
		障がい者向け資料		3,000冊配架	
		視聴覚資料		2,000点配架	
		郷土資料	64	8,000冊配架、独書籍	
		児童書、絵本	書架	330	26,000冊配架、読書席、キッズーナ
			お話室	27	15人収容、直座
		ブラウジング(閲覧ラウンジ)	17	新聞・雑誌配架	
		パソコンコーナー	10	インターネット利用4台程度	
		読書コーナー	85	カウンター28席、6掛×3席、ブース×4席	
	たたみコーナー	4	応急処置待機所		
	小計	1,137			
集会	多目的研修室	100	40人程度収容×2室		
	学習コーナー	100	50人収容、机(単独・共同)		
	ボランティア室	26	備品倉庫含む		
	小計	226			
保存書庫	閉架用書架①	207	89,000冊収容、集密型書架		
	閉架用書架②	31	5,000冊収容、固定式書架		
	永久保存書庫	45	恒温恒湿		
	小計	283			
管理部門	事務管理	管理事務室	48		
		作業室	45	製備・製本、補修、サーバ	
		応接室	10		
		倉庫	43	備品庫他	
		小計	146		
職員用諸室	職員更衣室、給湯	11	更衣室・ロッカー含む		
	職員トイレ	10	男女別		
	小計	21			
その他スペース	機械・電気	100			
	トイレ・授乳室	94	男女別。多目的2ヶ所、幼児用1ヶ所		
	廊下他	320	全体15%程度見込む		
	小計	514			
合計		2,500			

4-3 新図書館の来館者数及び必要駐車場・駐輪場の想定

現図書館の年間の貸出冊数、貸出者数、来館者数より、新図書館でも目標値を想定し、駐車場、駐輪場の必要台数と必要な用地の面積を想定します。

		想定値		現図書館		備考
来館者数	A	年間貸出冊数	243,000 冊	119,958 冊		
	B	年間貸出者数	40,500 人	28,565 人		目標 = 年間貸出冊数 ÷ 6.0冊/人
	C	年間来館者数	101,250 人	69,046 人		閲覧のみの来館者数を見込む (閲覧のみ来館者数の貸出者数に対する割合 目標150%、現在142%)
	D	開館日数	300 日	294 日		目標開館日数
	E	単純平均 1日來館者数	338 人	235 人		C ÷ D
	F	平日 : 土日比率	1.0対1.7	1.0対1.5		土・日利用者の増加を想定
	G	ピーク時集中度	45 %	45 %		集中度増加を想定
	H	平均来館者数 (平日)	274 人	201 人		$E \times 6日 \times F平日 / (F平日 \times 4日 + F土日 \times 2日)$
	I	平均来館者数 (土・日曜日)	466 人	302 人		$E \times 6日 \times F土日 / (F平日 \times 4日 + F土日 \times 2日)$
	J	ピーク時在館者数 (平日)	123 人	91 人		H × G
	K	ピーク時在館者数 (土・日曜日)	210 人	136 人		I × H
駐車場・駐輪場	L	自動車利用率	60 %	60 %		
	M	同乗人数	2.0 人	2.0 人		
	N	来館者駐車台数	69 台	45 台		$K \times L \div M \times 1.1$ (多客時を想定し10%余裕を見込む)
	O	業務用駐車台数	9 台	2 台		公用車用2台
	P	駐車台数	78 台	40 台		駐車場77台は3か所に分かれている。既存施設側は40台程度。ホール、社協と共用。イベント時は不足。
	Q	駐車場用地面積	2,346 m ²	1,200 m ²		$P \times 30m^2$
	R	自転車・バイク 利用率	12 %	12 %		
	S	駐輪台数	33 台	21 台		$K \times R \times 1.3$ (多客時を想定し30%余裕を見込む)
	T	駐輪場用地面積	57 m ²	37 m ²		$S \times 1.75m^2$
U	必要面積	2,500 m ²	1,300 m ²		$Q + T(100m^2未満を切上)$	

4-4 新図書館に必要な敷地面積

4-2 の施設面積の概算及び 4-3 の駐車場、駐輪場の想定より、新図書館に必要な敷地面積を想定します。

1. 平屋建の場合

	種別	面積 m ²	備考
1	建物(平屋建て)	2,500	平屋建とした場合
2	建物周り	1,700	周囲との離隔分、設備スペース等
3	駐車場・駐輪場	2,500	駐車場85台、駐輪場36台
	計	6,700	

平屋建て想定の場合 6,700 m²以上の敷地面積が必要となります。

2. 2階建の場合

	種別	面積 m ²	備考
1	建物(2階建て)	1,500	2階建とした場合
2	建物周り	1,000	周囲との離隔分、設備スペース等
3	駐車場・駐輪場	2,500	駐車場85台、駐輪場36台
	計	5,000	

2階建て想定の場合 5,000 m²以上の敷地面積が必要となります。

4-5 新図書館のゾーニング計画

新図書館の諸スペースの機能的な関係、利用者、管理者それぞれの動線、将来的なニーズへのフレキシブルな対応等に配慮し新図書館のゾーニング案を想定します。

■利用部門

【玄関ホールゾーン】

- ・玄関ホール、エントランス、休憩スペース、ブックポスト等

玄関ホールのゾーンには自動販売機や飲食席を設けた休憩スペースを設け、リラックスして落ち着いて読書ができる図書館の顔となるスペースとします。

また、図書館情報、生活情報等の展示を行い、人と情報が出会う場所をつくります。

また、玄関部分にはBDS等の防犯設備を設け、本の盗難や貸出手続き忘れを防ぎます。

【中央サービスゾーン】

- ・総合カウンター、レファレンスサービス、検索コーナー等

開架ゾーンを広く見渡せる中央部分に総合カウンター、レファレンスカウンター等を配置します。カウンター部分は貸し出しや、返却、レファレンスに必要なスペースをゆとりをもって確保します。また、自動貸し出し機等の非接触での貸し出しについても配慮します。

総合カウンターは事務室に隣接し、図書館職員が効率よく運営管理できるようにします。

【開架ゾーン】

- ・一般書、ヤングアダルト、参考図書、障害者向け資料、視聴覚資料、郷土資料、児童書、絵本、お話室、ブラウジング、パソコンコーナー、畳コーナー等

一般の開架ゾーンは広くスペースを確保し、なるべく多くの図書が並べられるようにします。

ブラウジングコーナーや読書コーナーになるべく多くの席を設け、ゆったりとした雰囲気の中で落ち着いて読書ができるようにします。またパソコンが利用できる席を設け、多様な図書館利用のニーズに応えられるようにします。

児童の開架ゾーンにはお話室や畳コーナー等の靴を脱いで読書ができる場所を設け、好きな場所を選んで読書を楽しむことができるようにし、一般の開架ゾーンとは干渉しないよう配置します。また、お話室の近くに児童のトイレ、授乳室を配置するなどの使い勝手に配慮します。

視聴覚資料コーナーには視聴覚ブースを設け、VHS等の内灘町の貴重資料が閲覧できるようにします。

郷土資料コーナーでは郷土をテーマとした展示等を行い、郷土について興味を持ち深く学習するためのコーナーを設置できるようにします。

読書テラスを設け、日本海や立山連峰を眺めながら落ち着いて読書ができるスペースと

します。

【集会ゾーン】

・多目的研修室、学習コーナー、ボランティア室等

おはなし会やその他の図書館主催イベント、図書を利用した活動、会議等、多目的に利用できる研修室を設けます。大きさの違う部屋を各1室設け、可動間仕切り等の設定により、2室をつないで広く使えるようにします。地域の利用も考慮し貸し出しがしやすい場所に配置します。

学習コーナーは滞在型を考慮したスペースを確保し、運用等によりコロナ禍に対応した距離が保つことができるようにします。

図書館サポーターの活動を支える拠点としてボランティア室を設けます。ボランティア室は管理事務室との連携がしやすい場所に配置します。

【保存書庫ゾーン】

・閉架用書架、永久保存書庫等

カウンターとの行き来に配慮し、保存書庫を設けます。

閉架用書庫では固定書架と集密書架を組み合わせ、図書選別のしやすさと十分な図書収納量の確保に配慮します。

温度と湿度をコントロールできる永久保存書庫を設け、貴重図書、行政資料等の本の劣化防止に配慮します。

■管理部門

【事務管理ゾーン】

・管理事務室、作業室、応接室、倉庫等

玄関ホールゾーン近くに管理事務室を設け、ブックポストからの返却が直接管理事務室で受けられるように配慮します。また総合カウンター等の中央サービスゾーンとの行き来にも配慮します。

作業室は十分な広さを確保し、図書選定、配架準備、修繕等の作業がスムーズに行えるようにします。

【職員用諸室ゾーン】

・職員更衣室、給湯、職員トイレ等

職員更衣室、給湯室、職員トイレ等必要な部屋を設けます。

職員が休憩時間にリフレッシュできるリフレッシュコーナーや休憩室を設けます。

■その他スペース

・機械・電気室、トイレ・授乳室、廊下等

利用者用トイレは、多目的トイレを設けるほか、男女それぞれのトイレにおいてユニバーサルデザインにもとづき明るく全ての世代の人が使いやすいトイレとします。また児童用トイレ近くに授乳室を設けます。

機械室・電気室においては設備更新に配慮した配置とします。また機械騒音が図書館の読書環境に影響を及ぼさないように騒音、振動等に配慮します。

■外部スペース

・アプローチ部分、駐車場、駐輪場

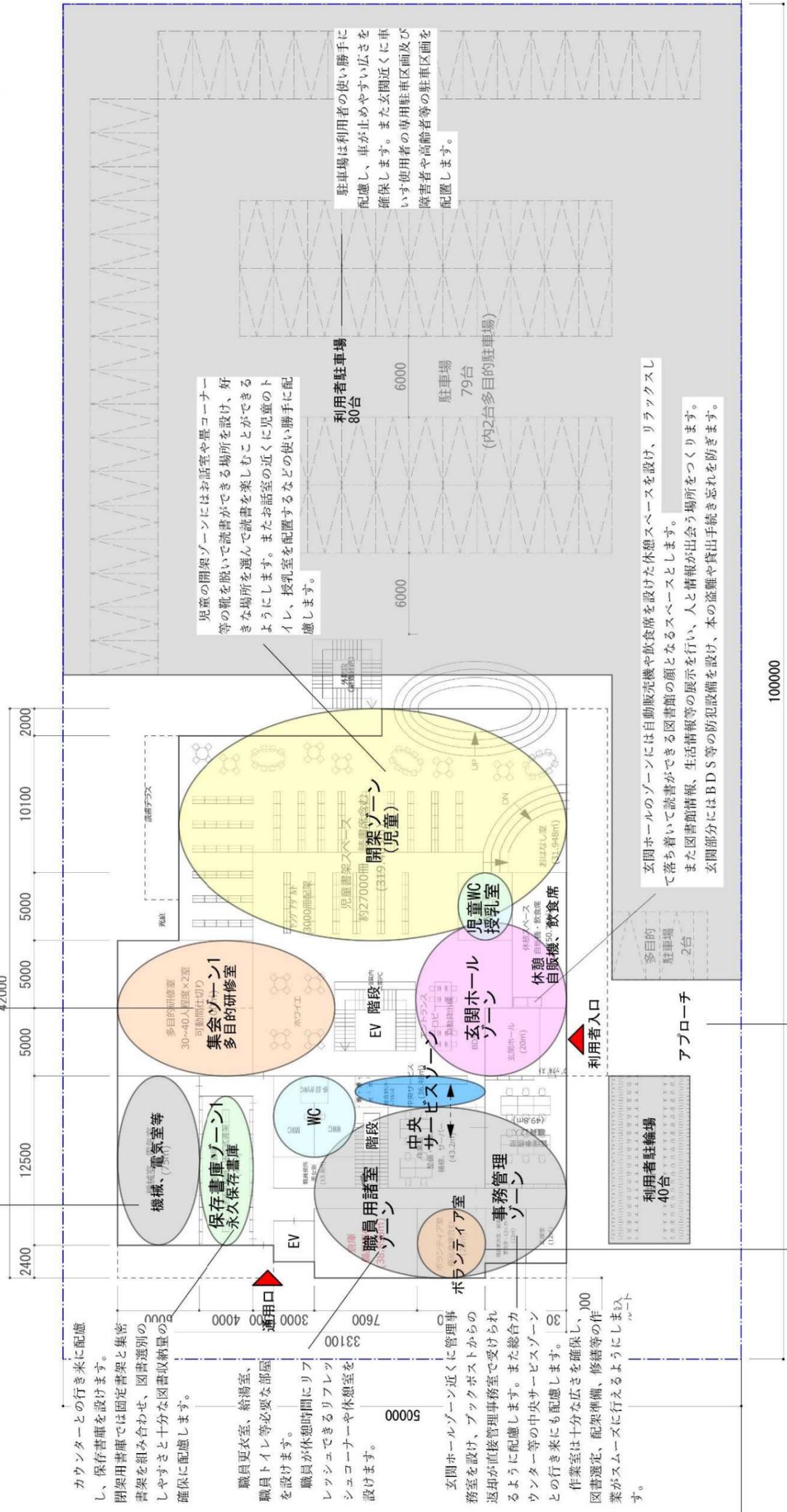
アプローチ部分では、特に歩行者の安全に配慮した歩車分離ができるようにします。車いす使用者がスロープ等を利用して段差なく施設に入ることができるようバリアフリーに配慮します。

駐車場は利用者の使い勝手に配慮し、車が止めやすい広さを確保します。また玄関近くに車いす使用者の専用駐車区画及び障害者や高齢者等の駐車区画を配置します。

機械室・電気室においては設備
更新に配慮した配置とします。ま
た機械騒音が図書館の読書環境に
影響を及ぼさないように騒音、振
動等に配慮します。

おはなし会やその他の図書館主催イベント、図書を利用した活動、会議等、
多目的に利用できる研修室を設けます。大きめの通う部屋を各1室設け、可動間
仕切り等の設定により、2室をつないで広く使えるようにします。地域の利用も
考慮し貸し出しがしやすい場所に配置します。

敷地面積 : 5,000 m²(想定)
1 F延床面積 : 1,250 m²
2 F延床面積 : 1,250 m²
延床面積 : 2,500 m²



カウンターとの行き来に配慮し、保存書庫を設けます。閉架用書庫では固定書架と密集書架を組み合わせ、図書選別のしやすさと十分な図書収納量の確保に配慮します。

職員更衣室、結湯室、職員トイレ等必要な部屋を設けます。職員が休憩時間にリフレッシュできるリフレクシユコーナーや休憩室を設けます。

玄関ホールゾーン近くに管理事務室を設け、ブックポストからの返却が直接管理事務室で受けられるように配慮します。また総合カウンター等の中央サービスゾーンとの行き来にも配慮します。作業室は十分な広さを確保し、作業書選定、配架準備、修繕等の作業がスムーズに行えるようにします。

児童の開架ゾーンにはお話し室やコーナー等の靴を脱いで読書ができる場所を設け、好きな場所を選んで読書を楽しむことができるようにします。またお話し室の近くに児童のトイレ、授乳室を配置するなどの使い勝手に配慮します。

利用者駐車場 80台
6000
6000
79台
(内2台多目的駐車場)

駐車場は利用者の使い勝手を配慮し、車が止めやすい広さを確保します。また玄関近くに車いす使用者の専用駐車区画及び障害者や高齢者等の駐車区画を配置します。

玄関ホールゾーンには自動販売機や飲食席を設けた休憩スペースを設け、リラクセスして落ち着いて読書ができる図書館の顔となるスペースとします。また図書館情報、生活情報等の展示を行い、人と情報が出会う場所をつくります。玄関部分にはBDS等の防犯設備を設け、本の盗難や貸出手続き忘れを防ぎます。

図書館サポーターの活動を支える拠点としてボランティア室を設けます。ボランティア室は管理事務室との連携がしやすい場所に配置します。

アプローチ部分では、特に歩行者の安全に配慮した歩車分離ができるようにします。車いす利用者がスロープ等を利用して段差なく施設に入ることができるようバリアフリーに配慮します。

前面道路

新図書館 1階ゾーンニング案 1/300

5章 整備パターンの比較検討

5章では整備パターンの比較検討を行います。新図書館の立地は町内からのアクセスのしやすさ、駐車場の確保、敷地形状による設計の自由度、周辺環境との関係、施設からの眺望等がたいへん重要な要素となります。複数の候補地の比較検討を行い、新図書館にふさわしい立地についての検討を行います。

また施設の整備のパターンの検討や施設の複合、周辺施設との連携について検討し、図書館利用の相乗効果についての検討を行います。

図書館の立地と周辺施設との関係、施設からの眺望等についての総合的な検討を行い、敷地決定に必要な情報について整理します。

5-1 建設予定候補地比較

3つの仮の建設予定候補地を挙げ比較検討を行います。

5-1 建設予定候補地比較表

		A案	B案	C案
1 候補地名		鶴ヶ丘県営住宅敷地	内灘駅敷地	コンフォモール周辺敷地
				
2 所在地		内灘町字鶴ヶ丘4丁目	内灘町字向粟崎4丁目	内灘町字千鳥台5丁目
3 敷地面積 m ²		約8600m ² (北側 約3600m ² 、南側 約5000m ²)	約1,600m ²	約6,400m ²
4 所有者		石川県	(線路、駅舎、車両基地部) 北陸鉄道 (ロータリー、駐輪場部) 内灘町	民間地
5 建築制限 建ぺい率 % 容積率 %		第一種低層住居専用地域 建蔽率50% 容積率80%	第二種住居地域 建蔽率60% 容積率200%	近隣商業地域 建蔽率60% 容積率200%
6 建築可能面積 m ²		約6880m ²	約3200m ²	約12800m ²
7 延床面積 m ²		延床面積2500m ² ※他施設の併設も可能	延床面積1000m ² (ピロティ駐車場含む、駅舎等別) ※図書館全てを移設できない。分館想定	延床面積2500m ² ※他施設の併設も可能
8 市街地からの距離 アクセスのしやすさ		△北部エリアからのアクセスが遠い △主要道路に面していない	△北部エリアからのアクセスが遠い ○主要道路に面している	△北部エリアからのアクセスが遠い △主要道路に面していない
9 用地買収費		○県と要協議	△北陸鉄道との協議	△有り
10 建築物の有無 (解体費用)		○県による解体	△有り	○無し
11 駐車場 確保の容易性		○80台以上 南北敷地利用	△10台程度(建物下ピロティ駐車場)	○敷地内 80台以上
12 設計自由度 使い やすさ		○南北敷地を合わせて設計自由度が高い	△敷地が狭く設計が限定される	○設計自由度が高い
13 環境、眺望 内灘ら しさ		○日本海や立山連峰を眺望する※施設高さによる 周辺施設 特になし	△日本海や立山連峰を眺望できない ○交通拠点としての使いやすさがある 周辺施設 内灘駅	△日本海に臨むが、立山連峰は眺望できない 周辺施設 コンフォモール
14 コスト(税抜き) 単位:百万円	建設工事費	1,250	500	1,250
	用地購入費		-	390
	解体撤去費	100	20	-
	敷地造成費		-	-
	外構整備費	185	33	130
	図書館家具、書架工事等	167	71	167
	通信関係、視聴覚関係工事等	65	45	65
	設計監理費	135	62	135
	その他の事業費	123	60	123
	合計	2,025	790	2,260
		○	○	△
15 総合評価		○ ・日本海や立山連峰を眺望する ・図書館の全面移転が可能 ・駐車場確保可 ・設計の自由度が高い	△ ・日本海や立山連峰を眺望できない ・図書館が分館になる ・駐車場が確保しづらい ・設計の自由度が低い ・交通拠点としての使いやすさがある	△ ・日本海に臨むが、立山連峰は眺望できない ・図書館の全面移転が可能 ・駐車場確保可 ・民間地取得の課題がある

5-2 建設予定候補地のコスト比較

A- C 案の概算コスト内訳を以下に提示します。

事業費 A 概算（延べ面積 2,500 m² 敷地面積約 8,600 m²）

単位：千円

	金額(税抜き)	備考
1 建設費	1,250,000	2,500m ² ×50万/m ² 建築、電気、機械
2 建設費加算	100,000	既存建物の解体撤去、敷地整備、地下埋設物切り回し、山留仮設、地盤改良等
3 外構整備費	185,000	7,400m ² ×2.5万/m ² 駐車場80台(舗装、雨水排水、圍障、植栽、車止めライン、外灯、広場等)
4 特注家具及びサイン	125,000	2,500m ² ×50,000円/m ² 程度
5 閉架書庫等	42,000	10万冊 電動移動書架(上代)
6 専門通信機器工事	5,000	電気工事外の配線工事、wifi対応等
7 視聴覚、サインージ、ICタグ	60,000	視聴覚設備、デジタルサインージ、自動貸出し機、ICタグ 視聴覚関係3,000万+自動貸出しICタグ3,000万
8 展示工事費	-	
●工事費計	1,767,000	
9 基本実施設計費	105,000	基本、実施設計、特注家具設計
10 工事監理費	30,000	建築、家具監理
●設計監理費計	135,000	≒工事費の8%
11 敷地測量・地盤調査費	10,000	
12 図書館備品購入費	30,000	事務関係備品、図書館家具以外の備品等
13 図書購入費(3年分)	49,500	33,000冊×1,500円/冊
14 移転業務委託費等	33,000	引っ越し、パンフ作成等
●その他の事業費計	122,500	
総合計	2,024,500	(税抜き)

事業費 B 概算 (延べ面積 1,000 m² 敷地面積約 1,600 m²)

単位：千円

	金額(税抜き)	備考
1 建設費	500,000	1,000m ² × 50万/m ² 建築、電気、機械
2 建設費加算	20,000	既存建物の解体撤去、敷地整備、地下埋設物切り回し、山留仮設、地盤改良等
3 外構整備費	32,500	1,300m ² × 2.5万/m ² 駐車場80台(舗装、雨水排水、困障、植栽、車止めライン、外灯、広場等)
4 特注家具及びサイン	50,000	1,000m ² × 50,000円/m ² 程度
5 閉架書庫等	21,000	5万冊 電動移動書架(上代)
6 専門通信機器工事	5,000	電気工事外の配線工事、wifi対応等
7 視聴覚、サインージ、ICタグ	40,000	視聴覚設備、デジタルサインージ、自動貸し出し機、ICタグ 視聴覚関係2,000万+自動貸し出しICタグ2,000万
8 展示工事費	-	
●工事費計	668,500	
9 基本実施設計費	47,000	基本、実施設計、特注家具設計
10 工事監理費	15,000	建築、家具監理
●設計監理費計	62,000	≒工事費の8%
11 敷地測量・地盤調査費	10,000	
12 図書館備品購入費	10,000	事務関係備品、図書館家具以外の備品等
13 図書購入費(3年分)	24,750	16,500冊 × 1,500円/冊
14 移転業務委託費等	15,000	引っ越し、パンフ作成等
●その他の事業費計	59,750	
総合計	790,250	(税抜き)

事業費 C 概算 (延べ面積 2,500 m² 敷地面積約 6,400 m²)

単位：千円

	金額(税抜き)	備考
1 建設費	600,000	1,200m ² × 50万/m ² 建築、電気、機械
2 建設費加算	20,000	既存建物の解体撤去、敷地整備、地下埋設物切り回し、山留仮設、地盤改良等
3 外構整備費	75,000	3,000m ² × 2.5万/m ² 駐車場80台(舗装、雨水排水、困障、植栽、車止めライン、外灯、広場等)
4 特注家具及びサイン	60,000	1,200m ² × 50,000円/m ² 程度
5 閉架書庫等	21,000	5万冊 電動移動書架(上代)
6 専門通信機器工事	5,000	電気工事外の配線工事、wifi対応等
7 視聴覚、サインージ、ICタグ	40,000	視聴覚設備、デジタルサインージ、自動貸し出し機、ICタグ 視聴覚関係2,000万+自動貸し出しICタグ2,000万
8 展示工事費	-	
●工事費計	821,000	
9 基本実施設計費	56,000	基本、実施設計、特注家具設計
10 工事監理費	17,000	建築、家具監理
●設計監理費計	73,000	≒工事費の8%
11 敷地測量・地盤調査費	10,000	
12 図書館備品購入費	10,000	事務関係備品、図書館家具以外の備品等
13 図書購入費(3年分)	24,750	16,500冊 × 1,500円/冊
14 移転業務委託費等	20,000	引っ越し、パンフ作成等
●その他の事業費計	64,750	
総合計	958,750	(税抜き)

5-3 整備パターン比較

新図書館への全面的移転、部分的移転や、他の施設との複合の整備パターンを想定し、新図書館のあり方の可能性について検討します。

		① 全面移転新築 (単独施設)	② 全面移転新築 (複合施設)	③ 分館新築 (単独施設)	④ 分館新築 (複合施設)
1	用地選定	△要	△立地による	△要	△立地による
2	機能性	○十分なスペースが確保可	○十分なスペースが確保可	○十分なスペースが確保可	○十分なスペースが確保可
3	管理		○職員を集中配置	△職員が分散	△職員が分散
4	アクセス	△立地による	△立地による	○分散によりアクセスしやすい	○分散によりアクセスしやすい
5	連携効果	-	○連携効果あり	-	○連携効果あり
6	コスト	△イニシャルコスト大	△イニシャルコスト大 (複合施設のコスト要)	○イニシャルコスト小	○イニシャルコスト小 (複合施設のコスト要)
7	事業効果	○事業の有効性大	○事業の有効性大	△事業の有効性限定的	△事業の有効性限定的
8	スケジュール	○閉館を要しない	○閉館を要しない	△新築後既存改修が必要 トータル工期長い	△新築後既存改修が必要 トータル工期長い
	長所	○十分なスペース確保 ○職員を集中配置 ○事業の有効性大 ○閉館を要しない	○十分なスペース確保 ○職員を集中配置 ○連携効果あり ○事業の有効性大 ○閉館を要しない	○十分なスペース確保 ○分散でアクセスしやすい ○イニシャルコスト小	○十分なスペース確保 ◎分散でアクセスしやすい ○連携効果あり ○イニシャルコスト小
	短所	△用地調達要 △イニシャルコスト大	△イニシャルコスト大	△用地調達要 △職員の分散 △事業効果が限定的 △トータル工期長い	△職員の分散 △事業効果が限定的 △トータル工期長い
	評価	○	○	△	△

5-4 施設の複合・連携の可能性

図書館のさらなる利用を促進し住民のより多様化するニーズに応えるために、他施設との複合・連携の可能性について検討を行います。他施設と複合・連携した場合の効果について下記に整理します。

		複合・連携の効果	施設事例
1	文化交流施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・内灘町歴史民俗資料館等と資料活用の連携を図り深く学べる環境をつくる。 ・施設それぞれの特徴を活かし、より効果的な交流イベントを開催することが期待できる。 ・ほのぼの湯等日常的に利用する人々の立ち寄り利用が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内灘町歴史民俗資料館 ・内灘町防災コミュニティセンター ・ほのぼの湯 ・公民館 等
2	子育て支援施設等 福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター等で現在行われている読み聞かせ会やイベント等と連携し、利用の促進が図れる。 ・子育て支援センター等に相談にくる保護者の方々の立ち寄り利用が期待できる。 ・それぞれの施設が所有する資料の有効活用が図りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター「カンガルーム内灘」 ・児童福祉施設 等
3	交通拠点施設	<ul style="list-style-type: none"> ・駅を利用する人々の立ち寄り利用が期待できる。 ・駅前エリアの活性化が期待できる。 ・まちづくりの拠点施設となることが期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内灘駅 ・道の駅 等
4	民間商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物等日常的に利用する人々の立ち寄り利用が期待できる。 ・図書館とはまったく異なる施設の連携により図書館利用ニーズの掘り起こしが期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンフォモール内灘 ・道の駅 等
5	都市公園	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園を日常的に利用する人々の立ち寄り利用が期待できる。 ・読書環境として良好かつ内灘らしさを感じられる環境の確保が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内灘町総合公園 等

6章 具体的な取り組み内容の検討

新図書館の基本理念、基本方針に従い、新図書館での具体的な取り組み内容について検討します。

基本方針1 地域の魅力を住民が誇りに感じられる図書館づくり

「理想は高く学問を愛し、豊かな文化のまち内灘をつくる図書館」

【6-1-1.町民憲章を具現化する図書館づくり】

内灘の歴史、文化を活かした図書館づくりとして、町民憲章を具現化する図書館づくりを目指します。また、町民が故郷を誇りに思い、さらに内灘を深く学びたいと思える図書館づくりを目指します。

- ・町民憲章を具現化する図書館づくり
- ・町民が故郷を誇りに思える図書館づくり

(内灘町民憲章)

われら内灘に住み、この地を

こよなく愛するもの、

すべての人びとと和して

ここに豊かな理想の都市を築きゆく。

人の世を生きる営みは難けれど、

こころの規を愛に律し、

海のごとく広く鷹のごとく

強くわれら歩みゆかむ。

一、美しい古里の自然を守り、すこやかな体を育てよう

一、理想は高く学問を愛し、思いやりの心を養おう

一、家庭にも社会にも平和と信頼の輪をひろげよう

一、明るくつとめを果たし生き甲斐ある人生を築きあげよう

一、力を合わせて豊かな文化のまち内灘をつくってゆこう

(昭和五十七年一月一日制定)

【6-1-2.豊かな自然と郷土資料を活かした内灘ならではの図書館づくり】

内灘らしさが感じられる図書館として、豊かな自然や郷土資料を活かした図書館づくり

を行います。また、内灘の特徴を活かし、まちの活性化につながる拠点となるような図書館づくりを目指します。

- ・豊かな郷土資料を活かした郷土展示コーナーの充実
- ・地域特性を活かしたテーマ性がある図書館づくり
- ・日本海や河北潟などの内灘の特徴を活かした図書館づくり
- ・まちの活性化につながる拠点となるような図書館づくり

【6-1-3.内灘町が保有する蔵書を活かした図書館づくり】

現図書館では蔵書数に対して開架のスペースが不足し、配架できない蔵書が書庫に保管されている状態です。十分な開架スペースを確保し豊かな蔵書が活かせる図書館づくりを行います。

- ・開架書架の割合を増やし、蔵書がなるべく目に触れるように十分なスペースを確保

基本方針2 気軽に立ち寄ることができ、ゆっくりと落ち着いた環境の中で読書が楽しめる図書館づくり

【6-2-1.開館時間の延長】

現在行っているサマータイム（7月～9月）について、特に9月は日没時間が早く延長時間内の利用者数が少ない状況となっています。サマータイムの開催期間や利用者にとっての利便性を再度見直し、利用率を高める検討を行います。

- ・サマータイム等の利用しやすい開館延長時間と期間の見直し

【6-2-2.車での利用に配慮した使いやすく十分な駐車場の確保】

利用者の使いやすさに最大限配慮し、町内のどこからでもアクセスし易い立地、十分な駐車台数の確保に配慮します。また周辺地区の交通環境を悪化させないように配慮します。

- ・十分な駐車場の確保
- ・町内からアクセスしやすい立地に配慮
- ・周辺地区の交通環境に配慮

【6-2-3.ユニバーサルデザインに配慮した施設計画】

ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、全ての人にとって使いやすい図書館づくりを目指します。

- ・アクセシビリティの向上
- ・段差解消、目的の本が探しやすい配架
- ・みんなが使いやすいトイレ
- ・わかりやすいサイン

【6-2-4.魅力的な建物の創造】

訪れてみたいと思える魅力的な図書館空間を創造し、これまで図書館を利用しなかった人も図書館を訪れ、そこで本が読みたいと思える建物を創造します。

- ・ここで本が読みたいと思える建物づくり
- ・訪れてみたいと思う建物づくり
- ・図書館の魅力発信

【6-2-5.滞在型図書館を考慮した施設計画】

現図書館の小規模館の良さを活かし落ち着いた居心地の良い読書環境や学習環境を提供します。現図書館の良さを継承し、ゆったりと快適に落ち着いて読書が楽しめる滞在型の図書館づくりを目指します。

- ・家や職場・学校と異なる、ゆったりと快適に読書を楽しめる場（サードプレイス）や学習ができる環境づくり
- ・現図書館の良さ（木の本棚の落ちついた雰囲気、小規模館の居心地のよさ等）を活かした図書館づくり

【6-2-6.図書館利用を促進するための施設の複合化の検討】

図書館の利用を更に高めるために、相乗効果が見込める他の施設（カンガルーム、歴史民俗資料館等）との併設や連携の可能性について検討する。

また、図書館の機能とは直接関係しない施設（商業施設、温浴施設、交通拠点等）を利用したついでに、図書館に立ち寄り本を借りることができるような、立地特性を活かす検討についても併せて検討していきます。

- ・相乗効果が見込める施設との併設や連携の可能性の検討
- ・図書館とは直接関係しない施設を利用した、ついでの立ち寄りが期待できる立地の検討

基本方針 3 読書普及活動を推進する図書館づくり

【6-3-1.乳児・児童・青少年の読書環境の充実】

特に開架スペースについては、これまでスペースの不足により配架できなかった資料の配架等、さらなる図書館資料の充実を図ります。また児童図書の諸スペースも十分に確保し、おはなし会、うちどく、学級招待等のさらなる充実を図ります。

学習コーナーは、滞在型を考慮したスペースや、図書館資料を活用した学習の促進を図ります。

現在スペースが不足しているカウンターや、返却・作業スペース等の充実を図り、図書館管理の効率化を図ります。

- ・開架スペースの充実
- ・おはなし会、うちどく、学級招待の充実
- ・学習コーナーの充実
- ・カウンター、返却、作業等の管理スペースの充実

【6-3-2.読書会、図書館サポーター、各学校図書館との連携強化】

図書館サポーター活動のためのボランティア室を設け、町民が活動できる環境を強化します。

図書館活動を支える全ての人との連携を強化し、読書会活動支援、図書館サポーター制度、学校担当者会議等の充実を図ります。

- ・図書館サポーターの活動スペースの整備（ボランティア室）
- ・読書会活動支援、図書館サポーター制度、学校担当者会議等の充実

【6-3-3.情報拠点としての図書館、本と人、人と人の出会いと交流の場をつくる】

内灘にちなんだテーマの企画コーナーの展示、読み聞かせ会等のイベント、情報と人・本と人・人と人の出会いと交流等、図書館に訪れると新しい出会いがあるという期待感を創出します。

読書普及活動のためのイベントスペースを設置し、読書イベント、図書にちなんだ交流イベント等を充実します。

- ・図書館に訪れると新しい出会いがあるという期待感の創出
- ・イベントスペースの設置
- ・読書イベント、交流イベント等の充実

【6-3-4.図書管理システム等の情報環境の整備】

I C Tを利用したサービス等を充実し、利用しやすい図書館をつくります。

- ・ 図書館システムの継続的な更新（平成29年度更新）
- ・ インターネット予約などのシステムの活用
- ・ I C Tを利用したサービスの充実
- ・ 自動貸し出し機、防犯設備等の導入

【6-3-5.コロナ禍の新しい生活様式に対応した電子書籍の貸出環境の整備】

コロナ禍の感染症対策として非接触でも図書の利用が可能な電子書籍の貸出環境について検討していきます。

- ・ 電子書籍の貸出環境の整備について検討

【6-3-6.他館とのネットワークの強化】

関連施設とのネットワークを更に強化し、図書館活動を推進していきます。

- ・ 町立学校図書館との連携の充実
- ・ 石川県立図書館ライブラリーネットシステムとの連携の充実
- ・ 公民館とのネットワークの充実

【6-3-7.視聴覚資料並びに機器の充実】

現図書館にない視聴覚ブースの設置により視聴覚資料の有効活用を図ります。図書館で保有している貴重資料であるV H S 資料等を活かした情報提供を行います。

- ・ 視聴覚資料の視聴環境の整備
- ・ 貴重資料であるV H S 資料（内灘闘争等）の活用

基本方針 4 子育て、学校教育、生涯学習、地域活動等の全ての人を支援する図書館づくり

【6-4-1.利用者ニーズに即した資料の収集】

全ての町民が利用しやすく、様々な活動や様々な図書利用に対応できる図書館づくりを目指します。

また、貸出集計を分析することにより利用者ニーズに即した購入計画を作成し、より多くの図書の保有に努めます。

- ・全ての町民が利用しやすい図書館サービスの充実
- ・子育て、学校教育、生涯学習支援活動のさらなる充実
- ・より多くの図書の保有
- ・貸出集計を分析した購入計画

【6-4-2.郷土関連資料の積極的収集】

地域の特性を活かした図書館づくりを目指し、町作成資料や町関連資料の収集充実を図り、深く地域を学ぶ環境をつくります。

- ・町作成資料、町関連資料収集の充実
- ・地域について学ぶ環境整備

【6-4-3.書庫スペースの拡充】

十分な書庫スペースを確保し、現状の保管スペース不足を改善します。

- ・書庫スペースの拡充

【6-4-4.図書館職員の専門研修への参加拡充】

司書等の専門研修に参加し職員のサービス能力をさらに高め、総合的な図書館サービスの質の向上を図ります。

管理運営に必要な職員を適切に配置し、専門研修のための時間を十分に確保できるようにします。

- ・図書館職員の専門研修への参加拡充
- ・職員配置人数の検討

基本方針5 変動する社会ニーズに対応する持続可能な図書館づくり

【6-5-1.ライフサイクルコストを考慮した長寿命計画の立案】

建設にかかるイニシャルコスト、建物の維持管理にかかるランニングコストを合わせたライフサイクルコストに配慮した施設計画を行う。また建物の耐久性を高め施設の長寿命化に配慮します。

- ・イニシャルコストを削減する施設計画
- ・維持管理が容易でランニングコストを削減する施設計画

【6-5-2.社会的なニーズの変化への対応可能な仕組みの構築】

昨今の多様化する社会のニーズに対応し、諸スペースがフレキシブルに組み替え可能な施設計画に配慮します。町民がそれぞれの目的で利用が可能な自由度の高い施設計画を目指します。

- ・社会的なニーズの変化にフレキシブルに対応可能な仕組みの構築

【6-5-3.感染症等に対応する安全安心な施設づくり（コロナ対策等）】

コロナ禍時代に対応した、安心して利用ができる施設づくりを行います。

- ・非接触型のサービスを行うための設備導入（本を消毒する設備、自動貸し出し機等）
- ・ソーシャルディスタンスが確保できる余裕のあるスペースの確保
- ・施設の十分な換気計画

【6-5-4.持続可能なサービスのための図書館づくり】

低炭素化社会にふさわしく、再生可能エネルギーや自然エネルギーを利用した環境負荷を低減する施設計画を行います。また、質の高い図書館サービスを継続的に提供していくための財源確保の見直し検討を行います。

- ・環境にやさしく、低炭素化社会にふさわしい図書館づくり
- ・持続可能なサービスのための財源確保検討

【6-5-5.効率的、効果的な運営計画の立案と継続的な人材育成】

図書館の運営の見直しを行い、利用者の満足度を高めるため、指定管理者制度も視野に入れた効率的、効果的な運営計画を立案します。また、図書館の運営を支える職員、図書館サポーターの育成を継続的に行います。

- ・ 効率的、効果的な運営計画を検討
- ・ 指定管理者制度の導入等の検討
- ・ 職員、図書館サポーターの継続的な育成

6-6.具体的な取り組み内容の検討

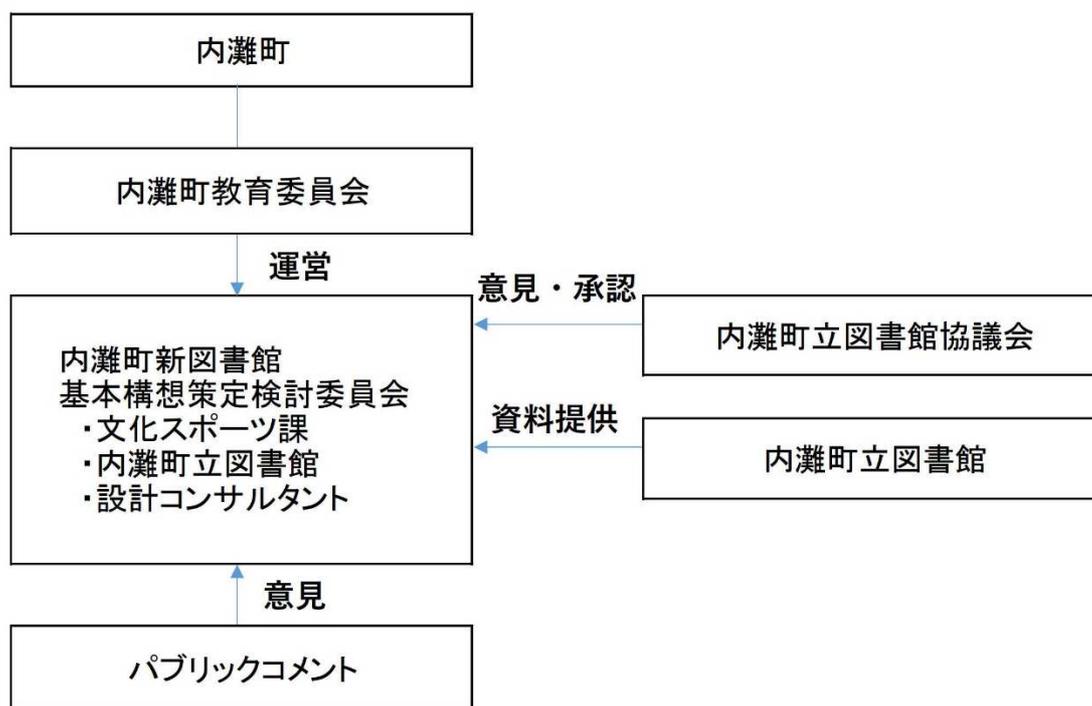
基本理念		
<p>文化のまち内灘でゆったりと本と向き合う憩いの図書館</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・【文化のまち内灘】 →内灘らしさの表現。内灘の歴史、文化、風土を反映した内灘ならではの図書館の実現。町民が誇りに思える図書館。 ・【ゆったりと本と向き合う】 →小規模館の落ち着き、木の本棚等の現図書館の良さを継承する。 ・【憩い】 →居心地の良い読書空間。家や学校・会社とは別の居場所づくり(サードプレイス)等の社会的なニーズを捉えた図書館。新しい出会い(本、人、できごと)やにぎわいの楽しさが感じられ、気軽に立ち寄れる魅力的な図書館。
基本方針	基本施策	具体的な取り組み内容
	<small>※「●」は第五次内灘町総合計画内容 ※「★」は第五次内灘町総合計画重点施策・事業</small>	
1	<p>地域の魅力を住民が誇りに感じられる図書館づくり「理想は高く学問を愛し、豊かな文化のまち内灘をつくる図書館」</p>	<p>1-1.町民憲章を具現化する図書館づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民憲章を具現化する図書館づくり ・町民が故郷を誇りに思える図書館づくり
	<p>1-2.豊かな自然と郷土資料を活かした内灘ならではの図書館づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな郷土資料を活かした郷土展示コーナーの充実 ・地域特性を活かしたテーマ性がある図書館づくり ・日本海や河北潟などの内灘の特徴を活かした図書館づくり ・まちの活性化につながる拠点となるような図書館づくり
	<p>1-3.内灘町が保有する蔵書を活かした図書館づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開架書架の割合を増やし、蔵書がなるべく目に触れるように十分なスペースを確保
2	<p>気軽に立ち寄ることができ、ゆったりと落ち着いた環境の中で読書が楽しめる図書館づくり</p>	<p>●2-1.開館時間の延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サマータイム等の利用しやすい開館延長時間と期間の見直し
	<p>2-2.車での利用に配慮した使いやすい十分な駐車場の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な駐車場の確保 ・町内からアクセスしやすい立地に配慮 ・周辺地区の交通環境に配慮
	<p>2-3.ユニバーサルデザインに配慮した施設計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセシビリティの向上 ・段差解消、目的の本が探しやすい配架 ・みんなが使いやすいトイレ ・わかりやすいサイン
	<p>2-4.魅力的な建物の創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで本が読みたいと思える建物づくり ・訪れてみたいと思う建物づくり ・図書館の魅力発信
	<p>2-5.潜在型図書館を考慮した施設計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家や職場・学校と異なる、ゆったりと快適に読書を楽しめる場(サードプレイス)づくり ・現図書館の良さ(木の本棚の落ちついた雰囲気、小規模館の居心地のよさ等)を活かした図書館づくり
	<p>2-6.図書館利用を促進するための施設の複合化の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗効果が見込める施設との併設や連携の可能性の検討 ・図書館とは直接関係しない施設を利用した、ついでの立ち寄り期待できる立地の検討
3	<p>読書普及活動を推進する図書館づくり</p>	<p>●3-1.乳児・児童・青少年の読書環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開架スペースの充実 ・おはなし会、うちどく、学級招待の充実 ・自習コーナーの充実 ・カウンター、返却、作業等の管理スペースの充実
	<p>●3-2.読書会、図書館サポーター、各学校図書館との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サポーターの活動スペースの整備(ボランティア室) ・読書会活動支援、図書館サポーター制度、学校担当者会議等の充実
	<p>3-3.情報拠点としての図書館、本と人、人との出会いと交流の場をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に訪れると新しい出会いがあるという期待感の創出 ・イベントスペースの設置 ・読書イベント、交流イベント等の充実
	<p>★3-4.図書管理システム等の情報環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの継続的な更新(平成29年度更新) ・インターネット予約などのシステムの活用 ・ICTを利用したサービスの充実 ・自動貸出し機、防犯設備等の導入
	<p>3-5.コロナ禍の新しい生活様式に対応した電子書籍の貸出環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の貸出環境の整備について検討
	<p>●3-6.他館とのネットワークの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町立学校図書室との連携の充実 ・石川県立図書館ライブラリーネットシステムとの連携の充実 ・公民館とのネットワークの充実
	<p>●3-7.視聴覚資料並びに機器の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚資料の視聴環境の整備 ・貴重資料であるVHS資料(激動の日本史、内灘闘争等)の活用

基本方針	基本施策		具体的な取り組み内容
	<small>※「●」は第五次内灘町総合計画内容</small> <small>※「★」は第五次内灘町総合計画重点施策・事業</small>		
4 子育て、学校教育、 生涯学習、地域を 学ぶ活動等の全ての 人を支援する図書館 づくり	●4-1.利用者ニーズに即した資料の 収集	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての町民が利用しやすい図書館サービスを充実する ・子育て支援、学校教育支援、生涯学習支援活動のさらなる充実 ・より多くの図書の保有 ・貸出集計を分析した購入計画 	
	★4-2.郷土関連資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> ・町作成資料、町関連資料収集の充実 ・地域について学ぶ環境整備 	
	●4-3.書庫スペースの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・書庫スペースの拡充 	
	●4-4.図書館職員の専門研修への 参加拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員の専門研修への参加拡充 ・職員配置人数の検討 	
5 変動する社会ニーズ に対応する持続可能 な図書館づくり	5-1.ライフサイクルコストを考慮した 長寿命計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・イニシャルコストを削減する施設計画 ・維持管理が容易でランニングコストを削減する施設計画 	
	5-2.社会的なニーズの変化への 対応可能な仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的なニーズの変化にフレキシブルに対応可能な仕組みの構築 	
	5-3.感染症等に対応する安全安心 な施設づくり(コロナ対策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・非接触型のサービスを行うための設備導入(本を消毒する設備、自動貸し出し機等) ・ソーシャルディスタンスが確保できる余裕のあるスペースの確保 ・施設の十分な換気計画 	
	5-4.持続可能なサービスのための 図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしく、低炭素化社会にふさわしい図書館づくり ・持続可能なサービスのための財源確保検討 	
	5-5.効率的、効果的な運営計画の 立案と継続的な人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的、効果的な運営計画を検討 ・指定管理者制度の導入等の検討 ・職員、図書館サポーターの継続的な育成 	

7章 基本構想策定経緯と今後の進め方

新図書館の基本構想策定経緯と今後の進め方について以下に整理します。

7-1 基本構想策定体制図



内灘町立図書館協議会委員 名簿

選出区分	氏名	所属・役職
学識経験者	高 島 要	石川工業高等専門学校特務教授
〃	坪 内 健 一	宮坂区長
〃	茶 谷 学	鶴ヶ丘東町会長
社会教育関係者	東 度 長 司	内灘町読書会連絡協議会長
〃	新 田 暁 人	人形劇サークル「らくだ」会員
〃	夷 藤 ゆう子	おはなしの会「がらがらどん」会員
学校教育関係者	新 英 美	内灘中学校教諭
〃	吉田谷 美也子	向粟崎小学校教諭

内灘町新図書館検討委員会 名簿

	氏名	所属・役職
	上 出 勝 浩	内灘町教育委員会 教育部文化スポーツ課長 兼図書館長
	中 佐 光 人	内灘町教育委員会 教育部文化スポーツ課長補佐
	久 能 晴 恵	内灘町立図書館 総括主査
	亀 谷 輝 昭	内灘町立図書館 総括主査
	北 市 真 美	内灘町立図書館 主事
	盛 下 敏 成	株式会社 浦建築研究所 所長

7-2 基本構想策定経緯

基本構想の策定経緯として8回にわたって検討委員会での検討を行い、3回の図書館協議会の中で協議会委員より意見をいただきました。また2月にはパブリックコメントを募集し住民に広く意見を求めました。

会議		日時	検討内容
1	第一回検討委員会	令和2年 6月11日	—基本構想の概要について— 1.基本構想概要説明 ・目的 ・全体スケジュール 2.図書館の現状と課題 3.事業の上位計画との関係 4.最近の図書館事例紹介
2	第二回検討委員会	令和2年 7月9日	—新図書館がめざすもの— 1.課題項目整理 2.現状課題から導かれる新図書館像提案 3.時代のニーズに合った新図書館像提案 4.視察準備
3	第一回図書館協議会	令和2年 8月4日	※検討委員会と小矢部市民図書館を合同視察 1.基本構想案概要説明 2.現状課題整理について 3.時代のニーズのあった新図書館提案について 4.基本理念、基本方針、サービス計画案について 5.基本構想についての意見聴取
4	第三回検討委員会	令和2年 8月20日	—基本理念、基本方針の検討— 1.視察からの意見整理 2.協議会からの意見整理 3.基本理念、基本方針の検討 4.新図書館の規模算定(移転新築の場合)
5	第四回検討委員会	令和2年 9月24日	—基本理念、基本方針の検討2— 1.基本理念(キャッチフレーズ)、基本方針の検討2 2.整備パターンの検討 3.基本構想のフレームについて
6	第五回検討委員会	令和2年 10月15日	—検討必要事項の再確認— 1.基本構想たたき台 協議 2.新図書館のキャッチフレーズ2 3.配置計画案の協議
7	第六回検討委員会	令和2年 11月12日	—構想の内容確認とコスト比較— 1.基本構想たたき台2 協議 2.概算提示 3.候補地比較検討 4.構想原案に含める範囲の確認
8	第七回検討委員会	令和2年 12月10日	—第2回図書館協議会準備— 1.協議会事前準備 2.資料確認
9	第二回図書館協議会	令和2年 12月24日	1.基本構想(案)提示、説明 2.基本構想についての意見聴取

会議		日時	検討内容
10	パブリックコメント	令和3年 2月19日 ～3月10日	1.基本構想についての意見収集
11	第八回検討委員会	令和3年 3月11日	—パブリックコメントの検討— 1.パブリックコメントの確認 2.基本構想の再検討、修正
12	第三回図書館協議会	令和3年 3月17日	1.基本構想の成果報告 2.構想承認

7-3 今後の進め方

今後の進め方としては、基本構想で設定した基本理念、基本方針、具体的な取り組み内容に従い新図書館整備を推進していきます。

内灘町立図書館協議会からの意見聴取や各種関係機関との連携により、全ての住民にとって使いやすく、親しみやすい図書館づくりを目指します。

また、財源や整備手法の方針が確定した段階で基本構想の見直しを行い、本構想の基本理念、基本方針を具現化する総合的にバランスがとれた図書館づくりを行います。

7-4 整備スケジュール

新図書館整備について、施設設計、建設工事、各種協議、開館準備等についておおまかなスケジュール案を以下に整理します。

具体的な開始時期については、今後の検討課題とします。

○ステップ1 計画敷地の選定、事業実施方針や財源の検討

○ステップ2 施設設計、各種協議

○ステップ3 建設工事、開館準備及び新図書館共用開始

内灘町新図書館基本構想

令和3年3月

内灘町

事務局 内灘町教育委員会 教育部 文化スポーツ課

〒920-0292

石川県河北郡内灘町字大学1丁目2番地1

TEL.076-286-6716 FAX. 076-286-6714
